

国立大学法人東海国立大学機構

# 岐阜大学

岐阜大学概要 2023



MAKE NEW STANDARDS.  
東海國立  
大學機構



岐阜大学

# 学長挨拶

President's Message

国立大学は2022年4月より6年間の第4期中期目標期間がスタートいたしました。また岐阜大学は、東海国立大学機構として4回目の春を迎えていきます。

東海国立大学機構が掲げる「Make New Standards for the Public」というミッションを共有し、その上で「学び、究め、貢献する」という本学の理念のもと、ビジョンを「地域共創、特色ある研究、イノベーション、教育を戦略的に推進し、地域と人類の課題解決に貢献する『地域活性化の中核拠点』となる」と定め、世界を見据えた上で、ビジョンを実現するための戦略を策定いたしました。

本学の強みである、「産業・まちづくり」、「ものづくり」、「食づくり」、「医療づくり」、「人づくり」の分野でステークホルダーとの共創のもと、地域社会への教育・研究・社会貢献などから生まれる成果が地域を変えていくこの好循環を、「ぎふのミ・ラ・イ・エ構想」(Migration, Laboratory, Innovation, Education)と名づけ、岐阜大学の価値創造のモデルとして位置づけました。

一方、直近の3年間はコロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻により、世界は歴史的なダメージを受けました。社会生活の制約や物資・電気代の高騰など大学運営も極めて厳しい状況に直面いたしました。しかしながら、岐阜大学は大きな発展を遂げています。

第一にあげられることは、両大学の強みを結集した、東海国立大学機構直轄拠点の充実です。の中でも特筆すべきは、東海国立大学機構・糖鎖生命コア研究拠点の発展をあげることができます。糖鎖分野における世界トップレベルの研究拠点として、国家プロジェクトである大規模フロンティア事業「ヒューマングライコームプロジェクト」を担当する運びとなりました。岐阜大学の誇りであります。

さらに、航空宇宙研究教育拠点の実績と発展は目を見張るものがあります。東海国立大学機構と岐阜県が内閣府の支援を得て、航空宇宙産業を中心としたさまざまなものづくり企業に貢献できるサイバー・フィジカル・ファクトリーを実現するための研究開発を進めています。

研究に関して強調したい取り組みが、医学・獣医学・薬学による先進医療と創薬、応用生物科学・工学部による食・農・バイオエンジニアリング、を加えた革新的なライフサイエンス拠点の構築です。2023年1月にはOne Medicineトランスレーショナルリサーチセンター(COMIT)を立ち上げ、研究基盤の整備と地域一体型の臨床研究体制を整え、東海国立大学機構 創薬・先端医療研究戦略構想を実現すべく研究活動が活発になっていきます。

一方、カーボンニュートラルおよび気候・環境変動対策もSDGs実現のために重要な課題です。社会課題を科学技術・イノベーションの発展で経済成長のエンジンへと押し上げていきます。

第二に強調したい点は、教育面での改革です。名古屋大学との連携で、全学教育科目的共同授業の実施、特に英語教育や数理データサイエンス・AI教育などの単位互換性授業が可能となりました。大学院博士課程学生への支援強化も実現しました。アカデミックセントラルの教育学修環境整備をさらに推

進することにより、キャンパスDXを推進するデジタルユニバーシティ構想の実現も楽しみです。

2022年に文部科学省の「地域活性化人材育成事業～SPARC～」に申請した「ぎふ地域創発人材育成プログラム～地域活性化を目指した知的基盤の構築～」が採択されました。今後、国立、公立、私立の大学が連携法人をつくることで共通の教育プログラムをつくるとともに、地域の産官学金との連携を高め、地域に密着した学びを深めることと、地域を活性化する仕組みづくりを進めていきます。

第三に挙げられる発展は、国際展開力です。地域における中核大学を目指すからこそ国際連携・国際交流を推進しなければならないと考えています。「世界で通用する人材こそ地域で活躍できる人材」であります。岐阜大学はすでに大学間では49大学、部局間では59大学と協定を締結していますが、今後はさらに増やしていきたいと考えています。また、国際化と教育研究力のさらなる向上を図るために、協定校のインド工科大学グワハティ校(IITG)およびマレーシア国民大学(UKM)と、ジョイント・ディグリープログラムとして4つの国際連携専攻を開設しています。今後は、東南アジアの協定校とジョイント・ディグリープログラムの開設を検討するとともに、産学連携して地域まるごと国際交流を推進するプロジェクトも展開していきます。

自治体との連携もこれまで以上に進めていますが、地域共創に貢献するためにも大学発のスタートアップ支援には一段と力を入れていきます。

岐阜大学は新しいビジョンや戦略を通じて、学生・教員・職員・ステークホルダーの皆様と共に、「若者の夢を実現する岐阜大学、地域づくり」を実現し、社会変革の駆動力として成長し続ける経営体」に向けた変革と「持続可能な地域中核大学」としての発展を目指します。

岐阜大学長 吉田 和弘



## Contents

学長挨拶	01
岐阜大学の理念と目標	02
岐阜大学憲章	03
岐阜大学の教育における3つの方針	04
環境への取り組み	05
大学組織	06
教育研究組織	07
教育 学ぶ岐阜大学	
教育推進・学生支援機構	14
学生数	16
入学状況	18
学部卒業者数・進路状況	19
国家試験合格状況・教員採用状況	20
大学院修了者数・進路状況	21
学生支援施設	23
学生サークル活動	24
研究 究める岐阜大学	
学術研究・産学官連携推進本部	25
特色ある研究の取り組み	26
科学研究費助成事業	28
共同研究・受託研究	29
発明届	29
社会連携 貢献する岐阜大学	
地域連携	30
公開講座・シンポジウム・フォーラム	31
市民大学講座	31
高大連携	31
国際交流	
グローバル推進機構	32
留学生受入・派遣状況	33
学術交流協定締結大学等一覧	35
研究者受入・派遣状況	37
国際交流会館	37
海外オフィス	37
組織	
学長・副学長等一覧	38
構成員数	40
予算	41
寄附金	41
沿革	42
歴代学長	43
キャンパス	
建物配置図	44
土地・建物	46
所在地・交通案内	48

# 学び、 究め、 貢献する

## 〔学章〕



デザイン 元岐阜大学教授 坂井範一

- 岐阜大学の学章は鵜舟と篝火を意味する。  
篝火は学問を、舟は人類の幸福を意味するであろう。
- 陰陽二体の組み合わせは天地自然を意味する。  
総ての存在と活動、調和とバランスを意味するであろう。
- 黒とオレンジ色の組み合わせは情熱を意味する。  
また感性の豊かさと品位を意味するであろう。
- 単純化された形は現代の清潔感と活動性を意味する。  
それはまた時代の速度と知性を意味するであろう。

## 〔シンボルマーク〕



デザイン 宮川ヒロミ氏

創立60周年を迎えた2009年、デザインを広く公募し決定した。岐阜の地での豊かな教育研究活動が、日本全体、世界へと発信されていくこと、そして岐阜大学学生が自らの将来に矢のようにまっすぐすむことを祈念してデザインされている。また、学章が力強い弓と融合し、岐阜大学の頭文字「G」を形作っている。

### 〔理念〕

清流の国と称され豊かな自然に恵まれた岐阜の地では、東西文化が接触する地理的条件や歴史を背景に多様な文化が育まれるなか、新たな技術・技能が創造され、脈々と伝承されてきた。国立大学法人東海国立大学機構・岐阜大学は、このような岐阜の地の特性を継承するとともに、洗練された「人が育つ場」の中で、社会を牽引し、未来を創造しうる「学び、究め、貢献する」人材の輩出を使命とする。

また、岐阜大学は、全ての学部・研究科が1つのキャンパスにある特徴と、同一法人を構成する名古屋大学との連携を教育・研究の両面に活かし、特に、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開する。さらに、これらの成果を地域還元することにより、「地域活性化の中核拠点」を目指す。

### 〔目標〕

#### 1. 教育

社会を牽引し、未来を創造するため、豊かな教養と「自ら学ぶ」姿勢を涵養し、高い倫理観とともに課題を探求し解決しうる能力をもった高度な専門職業人を養成する。このため、教育の質保証システムの充実、対面・遠隔授業のベストミックスや学修成果の可視化など教育学修環境の整備を推進する。

#### 2. 研究

個々の研究者の知的探求心に基づく学術研究の卓越性を幅広い分野において高めることにより、被引用度の高いジャーナル論文の増加を目指すとともに、特定の研究分野において、世界トップレベルの研究成果を得ることが期待できる研究センター群を形成し、人類や地域社会の直面する諸課題を解決する。

#### 3. 國際化

ジョイント・ディグリープログラム（JDP）はじめ地域に根ざした国際化を念頭に行う教育研究活動により、グローバル化を実現する。そのために、東海国立大学機構が持つ多様な人材やネットワークを活用し、組織的な支援体制やICTを活用した双方向の交流などを強化することで国際化を推進する。

#### 4. 社会貢献

東海地域の大学、大学共同利用機関、自治体、地元企業等との連携・協働をさらに深め、地域課題の解決をはじめ、教育、行政サービス等の向上による地域のブランド力の増進や産業の競争力向上に資する教育研究活動を推進するとともに、大学発ベンチャーの創出や产学協働拠点の形成を通じて、研究成果の社会実装による新たな価値を創造する。

#### 5. 地域医療連携

岐阜県における唯一の医学部附属病院として、地域医療を支え、住民の健康に寄与する役割を担う。特に、最先端の医療の提供、統合医療情報プラットフォームの構築、国際的に活躍する医療人材の育成などを通じて地域医療を先導し、社会に貢献する。

### 学生憲章：「岐阜大学は学生に何を期待しているか」

学生の皆さん。岐阜大学で学ぶ数年間は、皆さん的人生において最も輝いている、それ故に最も大事な時間なのです。岐阜大学における学生生活は、将来の生き方を決める上でとても重要です。自ら進んで学問の基礎と高度な専門知識を学ぶと同時に、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を磨いてください。大学の教職員は皆さんの期待に添うよう最善を尽します。皆さんも努力してください。

- 本をたくさん読み、学んでいく上での土壤を作ろう。
- 文学と芸術を愛し、人間と自然への理解を深めよう。
- 専門職業人として、高度な専門知識を身につけよう。
- 自分の考えを論理的な文章にまとめ、発表できるようにしよう。
- 国際語である英語をマスターし、十分に意思疎通できる実力をつけよう。
- ICTの活用により、正しい情報の受信と発信ができるようにしよう。
- 長い人生を生きるために体力をつけ、健康を守ろう。

### 教員憲章：「岐阜大学の教員は何をすべきか」

岐阜大学は、「教育に軸足を置いた教育・研究大学」を理念としている。学生憲章にしたがい学生を教育し、優れた人材を社会に送り出すことが大学に課せられた最大の使命である。質の高い教育には、学問に対する情熱と質の高い研究の裏付けを必要とする。教員は独創的研究を進め、世界トップレベルの研究を目指す。教員は、教育者、研究者としての高度な倫理観が求められていることを常に意識しなければならない。日常生活、教育研究に取り組む姿、それらのすべてが学生に対する教育である。

- 教育に軸足を置いた教育・研究大学として、学生憲章に示す教育を実践する。
- 広い視野、深い専門知識、総合的な判断力と行動力をもった人材を育成する。
- 教育者、研究者としての倫理を常に自覚し、行動する。
- 目標を高くもち、世界トップレベルの研究を目指す。
- 長期的視点と広い視野で、独創的な研究を進める。
- それぞれの専門分野を通して、社会貢献に努める。

### 社会貢献憲章：「岐阜大学はどのように社会の要請と期待に応えるか」

法人化以前の大学は、「象牙の塔」という言葉に象徴されるように、社会から切り離された一段と高い存在のように思われていた。しかし、法人化後、大学はあらゆる面で社会から期待される存在になった。これを受けて、大学は積極的に社会に貢献しようと努めている。岐阜大学は、中部地域に立脚した国立の地方総合大学として、教育、研究、産業、医療、文化など、広く地域社会の要請と期待に応えられるよう努めなければならない。国際的にも、教育、研究面で貢献することが求められている。

- 優れた人材の育成が、大学に期待されている最大の社会貢献である。
- 地方総合大学の重要な役割は、地域社会との連携、協働である。
- 産官学間の連携により、地域産業の振興に貢献する。
- 地域住民、行政機関との協力により、地域の行政、経済、教育、文化の発展に貢献する。
- 附属病院は高度先進医療センターとして地域の医療に貢献する。
- 先進国、途上国と協力して国際的な社会問題の解決に貢献する。
- 海外の大学との連携および留学生教育を通して、国際社会に貢献する。

### 大学運営憲章：「期待に応える大学であるために何をすべきか」

教育、研究、社会貢献など大学に対する社会からの期待は大きい。中期目標、中期計画を策定し、それを確実に実行することが、社会の期待に応えるための基本となる。大学という、普通の社会一般の組織とは少からず異なる独自の組織形態と価値観をもつ組織を、本来の目的に向かって進めるためには、学長のリーダーシップのもとに、教職員が問題意識を共有し、大学運営に当たることが重要である。特に、戦略性を重視し、個性ある大学像を築くことが必須条件である。国立大学法人をめぐる厳しい財政状況下で、大学の活性を保ち、本来の任務である教育、研究、社会貢献を進めるためには、経営と管理運営に戦略性が必要である。

- 中期目標、中期計画を確実に実行する。
- 戦略性を重視し、明確な方針と学長のリーダーシップのもとに大学運営にあたる。
- 環境に配慮した運営を行い、教育、研究、社会貢献に反映させる。
- 厳しい財政状況を乗り越えるため、明確な経営戦略のもとに運営する。
- 外部資金の獲得に努め、財政基盤を強化する。
- 情報の透明性と公開性を重視するとともに、情報を適正に取り扱い、効率的かつ合理的な運営に活かす。
- 教職員に優れた人材を採用し、その育成に努める。
- 学生の教学データ、教員の教育研究活動実績等は大学の財産であり、教育の質向上、研究の推進等に活用する。

## ■ 岐阜大学の教育における3つの方針（学部）

<b>卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)</b> <p>岐阜大学は、全ての学部が1つのキャンパスにある特徴を教育・研究の両面に活かし、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開しています。岐阜大学では「学び、究め、貢献する」人材を社会に送り出すことを理念・目標に掲げ、以下の基盤的能力及び専門的能力を総合的に身に付けた人に学士の学位を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 豊かな人間性を支える基盤的能力           <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 考える力（総合的判断力）</li> <li>－ 伝える力（コミュニケーション力）</li> <li>－ 進める力（自立的行動力）</li> </ul> </li> <li>● 専門職業人として必要な専門的能力           <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 社会に貢献できる専門的知識・技能</li> <li>－ 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方</li> <li>－ 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感</li> </ul> </li> </ul>
<b>教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)</b> <p>岐阜大学は、基盤的能力及び専門的能力を備えた人材を育成するため、以下の方針に基づいて到達目標を明確にした体系的な教育課程を編成し、点検・評価を通じた不断の改革に取り組みつつ実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 豊かな人間性を支える基盤的能力を培う</li> <li>● 自らの学習成果を適切に評価し、自主的な学習に責任をもって取り組む態度を培う</li> <li>● 人文科学、社会科学、自然科学、岐阜学、スポーツ・健康科学、英語／言語と文化、社会人リテラシー及び数理・データサイエンス・AIの各分野にわたる教養教育を実施し、生涯学習の基礎を培う</li> <li>● 専門分野を生かした見方・考え方を培う</li> <li>● 社会的責任を果たすことができる倫理観を培う</li> </ul>
<b>入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)</b> <p>岐阜大学は、自然豊かな1つのキャンパスで、幅広い分野において「学び、究め、貢献する」人材を育てます。大学での学修に必要な基礎知識と技能を備えており、次のような人の入学を期待しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 知的好奇心にあふれ、自ら進んで学ぼうとする人</li> <li>● さまざまな見方や論理的な考え方ができる人</li> <li>● 相手の意見を聞き、自分の考えを伝えることができる人</li> <li>● 楽しく課題を探求しようとする人</li> <li>● これからの地域や国際社会で活躍したい人</li> </ul> <p>上記の学力や意欲などを有する学生を選抜するために、各学部において、それぞれのディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーを踏まえ、学力試験や小論文試験などにより、受験者を多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。詳しくは、各学部等のアドミッション・ポリシーや学生募集要項をご覧ください。</p>

## ■ 岐阜大学の教育における3つの方針（大学院）

<b>修了認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)</b> <p>岐阜大学大学院は、全ての研究科が1つのキャンパスにある特徴を教育・研究の両面に活かし、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開しています。岐阜大学では「学び、究め、貢献する」人材を社会に送り出すことを理念・目標に掲げ、以下の基盤的能力及び専門的能力を総合的に身につける人に学位を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高度な専門職業人としての基盤的能力           <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 考える力（総合的判断力）</li> <li>－ 伝える力（コミュニケーション力）</li> <li>－ 進める力（自立的行動力）</li> </ul> </li> <li>● 高度な専門的能力           <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 社会に貢献できる高度な専門的知識・技能</li> <li>－ 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方</li> <li>－ 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感</li> </ul> </li> </ul>
<b>教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)</b> <p>岐阜大学大学院は、基盤的能力及び専門的能力を備えた高度な専門職業人を養成するため、以下の方針に基づいて到達目標を明確にした体系的な教育課程を編成し、点検・評価を通じた不断の改革に取り組みつつ実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会に貢献できる高度な専門的知識・技能を培う</li> <li>● 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方を培う</li> <li>● 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感を培う</li> </ul>
<b>入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)</b> <p>岐阜大学大学院は、自然豊かな1つのキャンパスで、幅広い分野において「学び、究め、貢献する」人材を育てます。大学院での学修と研究に必要な基礎的専門知識と技能を備えており、次のような人の入学を期待しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 知的好奇心にあふれ、自ら研究を行う意欲のある人</li> <li>● 総合的かつ論理的にものごとを考えることができる人</li> <li>● 広い教養と高い倫理観をもち、研究における社会的責任を認識している人</li> <li>● これからの地域や国際社会でリーダーとして活躍したい人</li> </ul> <p>上記の学力や意欲などを有する学生を選抜するために、各研究科において、それぞれのディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーを踏まえ、学力試験や小論文試験などにより、受験者を多面的・総合的に評価する大学院入試を実施します。詳しくは、各研究科のアドミッション・ポリシーや学生募集要項をご覧ください。</p>

本学は、岐阜大学環境方針に基づき、環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に展開し、地域社会に貢献し、地域とともにありつづける大学として2009年11月27日に「環境ユニバーシティ」を宣言しました。

### 【岐阜大学環境方針】

岐阜大学は、本学が掲げる理念を達成するとともに、「環境ユニバーシティ」としての取組みを継続発展させ、環境に配慮した大学環境を創り出すとともに環境を担う優れた人材育成に努めます。

### 【基本方針】

1. 岐阜大学の特長を生かした環境教育・研究を推進します。
2. 教育・研究活動の環境側面を常に認識し、環境影響を評価し、汚染の予防に努めます。
3. 省エネルギー、省資源を推進し環境負荷の一層の軽減に努めます。
4. 教育・研究に関わる順守義務の適合に努めます。
5. 環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
6. 教育・研究を通して、気候変動の緩和・適応及び生物多様性の保護に寄与します。
7. 毎年度活動目標を設定し、達成していきます。

岐阜大学は、この環境方針を学内外に周知し、広く公開します。

岐阜大学は、全学でISO14001を認証取得しています。（附属病院を除く）

本学は、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を、2003年に地域科学部で認証取得してから、順次、その認証範囲を拡大し、2013年には、附属病院を除く全学で認証取得しました。2016年には、新規格であるISO14001:2015の認証を取得し、新規格に基づいた運用を行っています。



### 環境報告書を発行しています。

環境負荷の状況や環境配慮の取り組みを公表すること目的に、毎年9月に作成しています。



学生編集委員による研究室インタビュー



### 岐阜大学環境月間（毎年11月）

「環境ユニバーシティ」宣言日（2009年11月27日）に因んで、毎年11月を岐阜大学環境月間と定め、さまざまな関連行事を行っています。



学生・教職員によるクリーンキャンパス



エコポスター表彰



学生によるISO14001の内部環境監査



ISO14001 内部環境監査員養成研修  
修了証書授与式



## ■ 学部等

<b>教育学部</b> 1 課程 12 謲座	学校教育教員養成課程	講 座  附属施設	国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術教育, 家政教育, 英語教育, 学校教育, 特別支援教育
	附属特別支援教育センター		附属学習協創開発研究センター
	附属小中学校		附属小中学校
<b>地域科学部</b> 2 学科 4 講座	地域政策学科	講 座  地域文化学科	地域政策, 地域環境
	地域文化学科		地域文化, 地域構造
<b>医学部</b> 2 学科	医学科	学科目  看護学科	生理学, 生化学, 人体構造学, 神経構造機能学, 病原体学, 薬理・中毒学, 病理学, 循環器・呼吸器・腎尿路学, 消化器・検査・血液腫瘍学, 内分泌代謝学, 脳神経学, 成育学, 生命倫理・法医学, 臨床遺伝・臨床倫理, 皮膚科学, 免疫応答学, 感覚器医学, 運動器学, 麻酔疼痛制御・救急災害, 画像診断・放射線治療, 精神医学, 地域・産業保健学
	看護学科		総合基礎科学, 地域生涯発達看護学, 地域健康支援看護学
			附属病院
<b>工学部</b> 4 学科 9 コース	社会基盤工学科	コース  機械工学科	環境, 防災
	機械工学科		機械, 知能機械
	化学・生命工学科		物質化学, 生命化学
<b>応用生物科学部</b> 2 課程 1 学科	電気電子・情報工学科	コース  附属施設	電気電子, 情報, 応用物理
	応用生命科学課程		附属インフラマネジメント技術研究センター
	生産環境科学課程		附属応用気象研究センター
<b>社会システム経営学環</b>	共同獣医学科	コース  附属施設	附属プラズマ応用研究センター
			附属宇宙研究利用推進センター
			ものづくり技術教育支援センター
<b>■ 運営支援組織</b>	応用生物科学部	コース  附属施設	分子生命科学, 食品生命科学
			応用植物科学, 応用動物科学, 環境生態科学
			附属岐阜フィールド科学教育研究センター
<b>■ 運営支援組織</b>		コース  附属施設	附属動物病院
			附属野生動物管理学研究センター
			附属共同獣医学教育開発推進センター
<b>■ 運営支援組織</b>		コース  附属施設	附属家畜衛生地域連携教育研究センター

## ■ 大学院

教育学研究科	学 位 程 度	教職実践開発専攻	コース	学校管理職養成、教育実践開発、教科指導能力開発	
		教育臨床心理学専攻			
地域科学研究科	修 士 程 度	地域政策専攻	領域	経済社会、行政社会、自然環境	
		地域文化専攻		社会生活、人間文化	
医学系研究科	博 士 程 度	医科学専攻	講座	生命原理学 解剖学、生理学、分子病態学、神経生物学、薬理病態学、再生機能医学	
				生命秩序学 高次神経形態学、細胞情報学、形態機能病理学、法医学、生命機能分子設計学	
				生命関係学 寄生虫学、感染学、病原体制御学、腫瘍病理学、疫学・予防医学、医学系倫理・社会医学、産業衛生学、医学教育学、医療経済学、システム生物学	
				内科学 消化器内科学、臨床腫瘍学、循環器内科学、呼吸器内科学、血液・感染症内科学、糖尿病・内分泌代謝内科学、膠原病・免疫内科学、腎臓内科学、総合診療科・総合内科学	
				外科学 心臓血管外科学、呼吸器外科学、消化器外科・小児外科学、乳腺外科学	
				脳神経科学 脳神経内科学、脳神経外科学、脳病態解析学（連携大学院）、精神医学	
				感觉運動医学 整形外科学、リハビリテーション学、皮膚科学、形成外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、口腔外科学	
				生体管理医学 麻酔科・疼痛医学、泌尿器科学、救急・災害医学、放射線医学、臨床検査医学、臨床薬剤学、臨床病理学	
				生殖・発育医学 小児科学、産科婦人科学	
		看護学専攻	領域	看護学教育 看護学教育	
				看護学教育 看護学教育	
				看護学教育 看護学教育	
				看護学教育 看護学教育	
		医療者教育学専攻	領域	看護学教育 看護学教育	
				看護学教育 看護学教育	
		寄附講座	領域	地域生涯発達看護学 地域健康支援看護学	
				地域看護学、精神看護学	
		共同研究 講座	領域	医療者能力開発学、医療者教育プログラム開発学、医療系倫理・社会医学教育学、総合病態内科学、地域医療教育学、医師育成学	
				心肺呼吸先端医学講座（岐阜県厚生農業協同組合連合会）、地域腫瘍学講座（岐阜県厚生農業協同組合連合会）、地域医療運営医学講座（関ヶ原町）、関節再建外科学先端医療講座（京セラ株式会社、ジンマー・バイオメット合同会社、スヌス・アンド・ヌフューリ株式会社）、先端画像開発講座（岐阜県厚生農業協同組合連合会）、低侵襲・がん集学的治療学講座（岐阜県厚生農業協同組合連合会、ミヤリサン製薬株式会社、関ヶ原町）、地域医療放射線医学講座（高山赤十字病院）、虐待に関する急救医学講座（岐阜市民病院）、感染症寄附講座（岐阜県）、岐阜県コモド予防治療医学講座（岐阜県厚生農業協同組合連合会）、臨床解剖開発学講座（岐阜県厚生農業協同組合連合会）、先端ゲノム医療開発学講座（中部薬品株式会社）、小児希少難病早期診断・予防医学講座（一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター）、周術期疼痛制御・人材育成講座（岐阜県厚生農業協同組合連合会）、がん先端治療国際地域支援講座（社会医療法人厚生会）	
				ファージバイオロジクス研究講座（アステラス製薬株式会社）	
工学研究科	博 士 程 度	工学専攻			
		岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携統合機械工学専攻 岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻			
自然科学技術研究科	修 士 程 度	領域	生命科学・化学専攻	化学・創薬、分子生命科学、食品生命科学	
			生物生産環境科学専攻	応用植物科学、応用動物科学、環境生態科学	
			環境社会基盤工学専攻	環境、防災	
			物質・ものづくり工学専攻	物質化学、設計生産	
		領域	知能理工学専攻	知能機械、知能情報学、応用数学物理	
			エネルギー工学専攻	エネルギー変換、電気エネルギー	
			岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻		
共同獣医学研究科	博士課程	共同獣医学専攻	講座	基礎獣医学科、病態・応用獣医学科、臨床獣医学科	
連合農学研究科	博 士 程 度	生物生産科学専攻		植物生産管理学、動物生産利用学	
		生物環境科学専攻	連合講座	環境整備学、生物環境管理学	
		生物資源科学専攻		生物資源利用学、スマートマテリアル科学、生物機能制御学	
		岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻			
連合創薬医療情報研究科	博 士 程 度	研究領域		生命分子科学、システム生命工学	
		創薬科学専攻	寄附講座	紅豆杉研究室（株式会社紅豆杉）	
		共同研究 講座		多段階重合発酵機能性共同研究講座（株式会社日本自然発酵）	
		医療情報学専攻	研究領域	生命情報、生体制御	

## ■ 図書館

### 蔵書数

区分	図書（冊）			雑誌（種）		
	和書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計
図書館	532,532	217,125	749,657	9,767	3,885	13,652
医学図書館	83,237	86,704	169,941	1,527	1,804	3,331

2023年4月1日現在



受付カウンター 入館ゲート

### 開館時間・休館日

区分	月～金曜日	土曜日	日・祝日（試験期間のみ）	休館日	
				日曜日	祝日
図書館	9:00～19:00*1)	10:00～18:00	10:00～18:00	日曜日,祝日 *2)	夏季節電休館日(8.11～20) 年末年始(12.28～1.4)
医学図書館	9:00～19:00*1)	10:00～18:00		日曜日,祝日	夏季節電休館日(8.11～20) 年末年始(12.28～1.4)

備考 休館日若しくは閉館時間を変更する場合がある。 \*1) 一部平日に短時間開館あり（開館予定表は図書館ホームページにて）。 \*2) 試験期間を除く。

### 利用状況（2022年度）

区分	入館者数（人）	教職員	学生	学外者	計		
		図書館	蔵書スペース他	3,561	115,815	1,187	121,681
		医学図書館	ブレゼンルーム*1)	323			
貸出冊数（冊）		3,862	22,090	1,417	27,369		
					149,050		
文献複写数（件）		3,403	32,493	589	36,485		
		医学図書館	667	5,540	12	6,219	
			計	4,070	38,033	601	42,704
		図書館		1,467	724	2,191	
		医学図書館		636	1,470	2,106	
			計	2,103	2,194	4,297	

備考 開館日数 図書館：275日、医学図書館：280日

\*1) プロジェクターや無線LAN等を備え、グループ学習やプレゼンテーション等の練習が可能な学習支援の場。



本館

### ■ アーカイブ・コア

アーカイブ・コアは岐阜大学創立70周年記念事業として図書館内に整備され、「PRAETER（プラエテール）」と「FUTURUM（フトゥルム）」の2つのゾーンから構成されている。

### 収蔵資料の例

教育学部 所蔵資料	世界最古級の印刷物「百万塔」、加納藩小川家甲冑
応用生物科学部 所蔵資料	カイコの解剖模型、農作物害虫図
工学部 所蔵資料	プラズマ CVD装置、フレキシブル太陽電池
医学部・同附属病院 所蔵資料	教育解剖図（丹下 年男作）、日本画（守屋 多々志作）
地域科学部 所蔵資料	自治体史、各種行政資料、郷土資料 (所蔵場所：地域資料・情報センター)

備考 上記の他、岐阜県内出土の考古資料等の古文書（90,000点超）、写真や絵画等の美術作品（約60点）、剥製や卵等の標本（約1,100点）、人体解剖図（534点）を保管している。



PRAETER内 剥製標本群

## ■ 医学部附属病院

医学部附属病院は、県下唯一の大学医学部附属病院、特定機能病院として先進・高度医療を担い、がん・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病・精神疾患の5疾病及び救急医療・災害医療・べき地医療・周産期医療・小児医療の5事業に積極的に取り組んでおり、難病疾患やがん、肝炎、AIDS、原子力災害、アレルギー疾患等の診療拠点病院に指定されている。この他、高度救命救急センター、一次脳卒中センターにも指定されている。

2019年1月に、岐阜医療圏地域コンソーシアムが設立され、大規模データ統合が始まり、2020年4月の東海国立大学機構設立とともに東海地域の医療データ統合が開始されている。

2020年11月に、岐阜県難聴児支援センターが設置されるなど、さまざまな院内外の連携を図るとともに、院内においても診療科の垣根を超えたチーム医療を推進・実施している。

さらに2022年4月に感染制御室、医療の質管理室、総合臨床研修部、メディカルスタッフ研修支援センターを新たに設置するなど、より安全で質の高い医療を目指している。

本院はポストコロナ時代に適応した「スマートホスピタル」の実現と「社会と医療のニーズに応える病院」を目指しており、特に安心・安全を基盤とした特定機能病院として、より先進的な医療を提供すると同時に地域に密着した病院としての役割を果たすべく、医療安全、臨床研究の推進、国際的にも活躍できる人材育成、よりよい医療の提供に取り組んでいる。



医学部附属病院

### 患者数(2022年度)

	初診延患者数	18,295人
	患者延数	197,076人
	再診延患者数	304,846人
入院	1日平均患者数	539.93人
	病床稼働率	87.9%
	入院稼働日数	365日

	初診延患者数	18,295人
	患者延数	197,076人
	再診延患者数	304,846人
外来	計	323,141人
	1日平均患者数	1,329.79人
	外来診療日数	243日

### 患者数の推移



### 診療科及び病床数

2023年4月1日現在	
区分	病床数
第1内科	58
耳鼻咽喉科	32
血液内科	11
形成外科	22
第2内科	51
皮膚科	37
第3内科	21
泌尿器科	19
脳神経内科	12
総合内科	12
小児科	28
心臓血管外科	1
呼吸器外科	103
消化器外科	8
乳腺外科	1
高次救命治療センター	30
産婦人科	33
ICU	6
整形外科	49
歯科口腔外科	12
脳神経外科	37
眼科	29
共通	14
計	614

## ■ 応用生物科学部附属動物病院

応用生物科学部附属動物病院は、獣医学の教育・研究・診療を実践する中部地区で唯一の施設である。近年の診療件数の増加に対応するため、またペットオーナーの求める高度な動物医療を提供するため、2010年4月に診療棟と多目的棟(旧リニアック棟)、2012年4月にMRI-CT棟を増築した。診療棟は個室型の診察室、脳外科手術にも対応できる陽圧手術室、集中治療室などを備え、画像診断装置など最新の医療設備と電子カルテを導入した先進施設である。なお、国立大学では初めてとなる高エネルギー型放射線治療器、MRI棟には磁気共鳴断層装置(MRI)を導入した。さらに、2023年には高精度放射線治療が可能な放射線治療機に更新予定である。

本院の特色は、伴侶動物及び産業動物を診察する複数の診療科を有していることである。伴侶動物を診療する内科、外科、腫瘍科、麻酔科、神経科、整形外科においては東海地区をはじめ近畿、北陸地区の個人病院から紹介を受け年間約10,500件の診療を行っており、産業動物科においては、岐阜地区における産業動物診療の一翼を担っている。



2023年4月1日現在

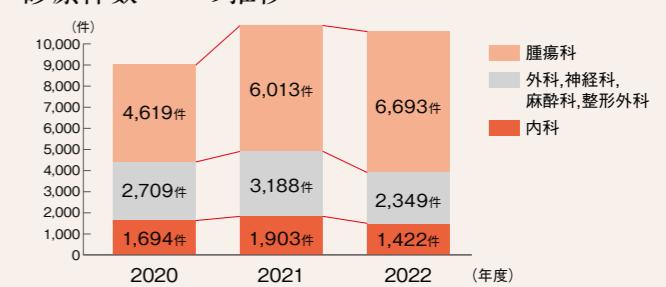
### 施設及び設備

名称	床面積(m <sup>2</sup> )	主な施設
診療棟	912	1階；診察室(7室)、超音波検査室、処置室、第1検査室、薬室、受付事務室 2階；陽圧手術室、一般手術室(3手術台)、手術準備室、集中治療室、回復室、仮眠室(2室)
動物病院多目的棟・MRI-CT棟	341	高エネルギー型放射線治療室、磁気共鳴断層検査室、操作室
動物病院棟(1階)	438	内視鏡・腹腔鏡検査室、歯科口腔外科診療室、X線・画像解析室、第2検査室、病院長室・相談室、動物病院事務室
CT棟	47	X線CT撮影室、操作室
管理棟	260	動物入院室、供血動物室、医局
リニアック棟	400	高精度放射線治療室、休憩室、犬舍
合計	2,398	

### 動物種類別の診療件数(実数)

年度	伴侶動物(件数)			産業動物(件数)					総計
	犬	猫	その他	計	牛	馬	豚	綿・山羊	計
2020	7,560	1,459	1	9,020	0	2	0	1	3 9,023
2021	9,111	1,980	1	11,092	3	2	0	7	12 11,104
2022	8,677	1,781	0	10,458	1	0	2	4	7 10,465

### 内科・外科・神経科・麻酔科・整形外科・腫瘍科の診療件数(実数)の推移



## ■ 医学教育共同利用拠点

### 医学教育開発研究センター

医学教育に貢献できる人材育成と、国内外の医学教育機関との連携・共同研究を推進する全国共同利用施設として2001年に設立された。2010年4月には全国唯一の「医学教育共同利用拠点」として文部科学省から認定され、2020年4月からさらに5年間の拠点継続が承認された。拠点事業として毎年3回開催する「医学教育セミナーとワークショップ」は全国規模の教員養成プログラムとして高く評価されている。また、全国の医学部・医療系教育機関でリーダーとなる人材を育成するプログラムを開講し、修了者を「MEDCフェロー／アソシエイト」として認定している。

教育開発学部門では医療者教育の教育法・プログラム・評価法の開発に取り組み、指導者養成部門では、医療指導者のキャリア支援及び教育力の開発に取り組んでいる。プロフェッショナリズム教育、アウトカム基盤型医学教育、コンピュータ支援学習、ポートフォリオ評価システム、国際交流と医療英語教育、医療者教育学(修士課程)と医学教育学(博士課程)の大学院教育にも力を入れている。

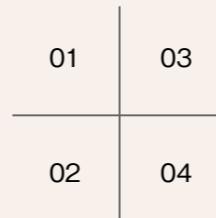
[教育開発学部門、指導者養成部門]



中央診療施設等		
検査部	生体支援センター	ゲノム疾患・遺伝子診療センター
手術部	がんセンター	ベッドコントロールセンター
放射線部	エイズ対策推進センター	呼吸器センター
材料部	肝疾患診療支援センター	アレルギーセンター
輸血部	リハビリテーション部	国際医療センター
病理部	成育医療センター	循環器センター
総合診療部	医療機器センター	炎症性腸疾患センター
医療情報部	高次画像診断センター	難聴児支援センター
光学医療診療部	新生児集中治療部	ドクタークラーケ部
高次救命治療センター	オートシー・イメージングセンター	栄養管理室
総合患者サポートセンター	脳卒中センター	

医療安全管理室	医師育成推進センター
薬剤部	看護師特定行為研修センター
看護部	内視鏡外科手術トレーニングセンター
診療録管理室	メディカルスタッフ研修支援センター
感染制御室	先端医療・臨床研究推進センター
医療の質管理室	臨床倫理室
総合臨床研修部	さわやかサービス推進室

## ■ 共同教育研究施設等



### 01 地域協学センター

地域協学センターは、「地域活性化の中核拠点」として地域社会づくりに貢献する大学を目指して、地域を知り、地域の課題を見つけ、地域の課題解決に向けて貢献できる「次世代地域リーダー」の育成（次世代地域リーダー育成プログラム）、地域の課題解決に向けた研究の推進（地域志向学研究）、地域の課題解決に向けて多様な人びとが対話し、新たな価値を創造する「対話・共創の場」づくり（ぎふフューチャーセンター）等に取り組んでいる。さらに、岐阜県と共同で設置した「ぎふ地域学校協働活動センター」におけるコーディネーターや「社会教育士」の育成、岐阜県や岐阜県教育委員会との連携による高大連携事業も展開している。このような取組みを推進するために、地域・自治体・教育機関・地元産業界・金融機関・市民活動団体等との協働体制を築き、地域の窓口としての役割をも担っている。

### 02 流域圏科学研究センター

岐阜大学の環境科学研究の中核として、流域圏における植生系、河川水系、土壤地盤系などの多様な自然科学的・人為的事象の解明、および流域圏環境保全・防災減災に関する学術研究・技術開発を行うことによって、流域圏の保全と持続的な発展に資する学術研究分野「流域圏科学」を国内外の大学や研究機関、関連コミュニティ、地域社会と連携しながら醸成している。

[森林機能研究部門、水物質動態研究部門、高山試験地、流域水環境リーダー育成プログラム推進室、共同研究支援室、地域協働推進室]

### ■ サテライトキャンパス等



#### 岐阜大学サテライトキャンパス [2012年10月設置] (岐阜市吉野町6丁目31番地 岐阜スカイウイング37 東棟4階)

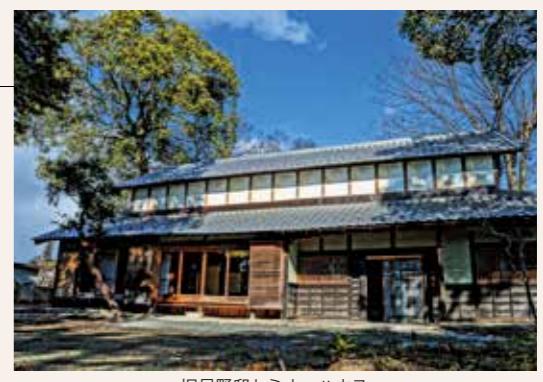
サテライトキャンパスは、JR岐阜駅に直結しており、講義やゼミ、講演会、研究発表等に使用可能な多目的講義室、学生が自学自習できるラーニングコモンズ、企業相談等に利用できるミーティングルームを備えている。  
(2023年6月末をもって閉鎖予定)



岐阜スカイウイング37

#### 岐阜大学旧早野邸セミナーハウス [2013年4月設置] (大垣市昼飯町1777)

旧中山道沿いの大垣市昼飯町にある本学第7代学長早野三郎氏ゆかりの家を活用した本学の活動拠点である。授業、講演等に使用可能なセミナー室、地域の歴史と文化に係る資料や学生の制作物等を展示する展示室、フィールドワークの活動拠点として利用できるミーティング室を備えている。



旧早野邸セミナーハウス

### 03 グローカル推進機構 日本語・日本文化教育センター

外国人留学生への日本語・日本文化に関する教育、日本人学生への国際理解に関する教育を行っている。さらに、全学共通教育における日本人学生と外国人留学生を対象とした異文化交流に関する授業も実施し、留学生交流を中心に大学の国際化に寄与している。

またセンターには、「交流ラウンジ」があり、ラウンジでは外国人留学生と日本人学生との交流や学習、チーターによる学習の支援、留学等の情報収集の場として多様な活動を通じ、本学の国際交流の促進を図っている。

### 04 保健管理センター

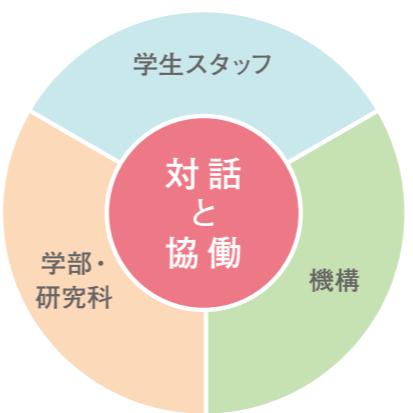
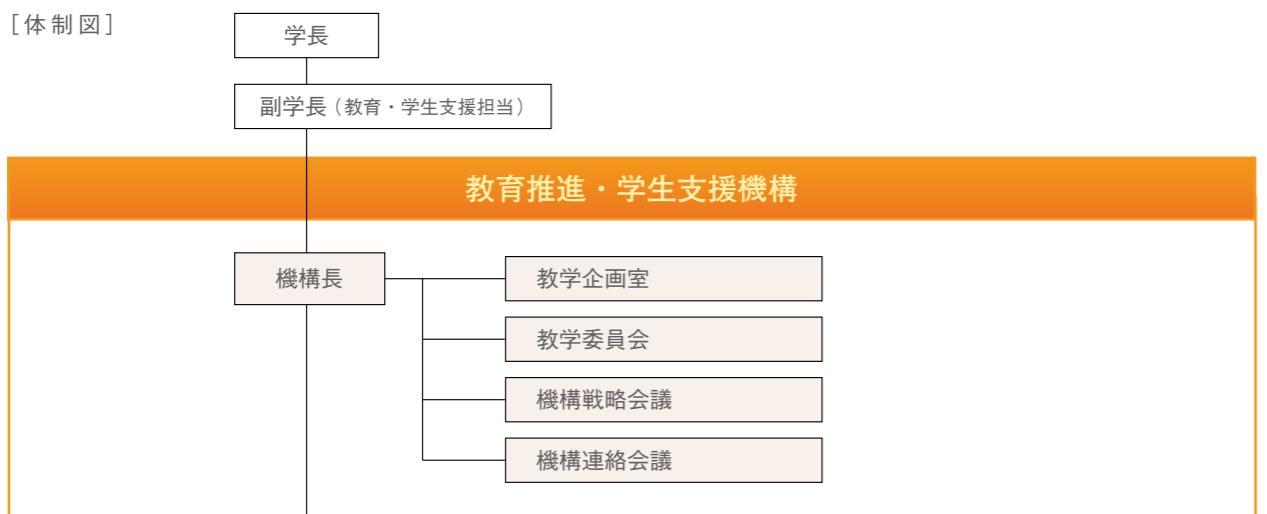
学生及び職員の健康増進、ならびに学生の安全衛生環境保持・改善を図るために、学内の保健計画を立案し、実践している。学生の健康診断の実施と生涯の健康を守るための保健指導、修学支援、救急処置、健康相談、健康啓発活動と、その業務は多彩である。特に、学生相談（メンタルヘルス）、障害学生支援、留学生の健康管理の充実を図っている。

また、学生の健康に関する調査・研究を行い、学内の施策提言につなげているほか、県内の各大学と協働し、その中核として大学生の健康管理に関する研究会も主催している。

# 学ぶ岐阜大学

## ■ 教育推進・学生支援機構

[体制図]



機構には、全学的な教育活動に係る企画立案を行うとともに、教育効果の評価及び分析、教育の質保証システムの運用その他の教学IRを行う組織として「教学企画室」が置かれている。

また、企画立案および計画実施のため、4センター（アドミッション・センター、基盤教育センター、教職課程支援センター、学生支援センター）の業務実施組織が置かれている。2018年度からは、全学共通教育における英語教育の充実のため、イングリッシュ・センターが置かれている。本機構の主な業務は、次のとおり。

- ① 大学教育の質保証に関すること。
- ② 教養教育の企画及び実施に関すること。
- ③ 学生の受け入れ、学修支援、学生生活支援、キャリア支援等の企画及び実施に関すること。
- ④ 地域を志向した教育の企画、連携及び実施に関すること。
- ⑤ 教職課程（教育学部を除く）の支援に関すること。
- ⑥ 全学的なファカルティ・ディベロップメントの企画運営に関すること。
- ⑦ 他機関等との連携による教育の企画及び実施に関すること。
- ⑧ その他本機構の目的を達成するために必要なこと。

### 機構／学部のマトリクス型組織

学部における専門教育と機構が責任をもつ基盤教育を融合する構造

### 個別最適の成果を全体最適へ還流

学部等が蓄積してきた実績を、全体最適の観点から大学全体へ適用

### 組織文化の変化を伴うガバナンス改革

対話と協働を活用した合意形成と改革の浸透

### 整備された教育環境

統合されたワンキャンパスは、日常的に対話と協働ができる場所

岐阜大学では、「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」、そして「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」の3つの方針を大学全体として策定するとともに、大学として全教育活動を通して身につけさせたい能力として「基盤的能力」を示し、学部等の「専門的能力」と合わせて養成することを目指している。

学生の主体的な学修を促すため、①学生の入学から卒業・修了までの一貫した修学支援・学生生活支援体制を強化すること。②3つの方針に沿った学部・研究科の実践を絶えず確認し、よりよいシステムとしていくこと。そして、③各学部の潜在的な教育力を引出し、大学全体としての教育力を高めること。これらの目標を実現するためには、全学の教育活動を俯瞰しつつ、企画立案し、各学部・研究科の教育活動の改善を推進するとともに、学生自身の学びを支援するしくみが必要になる。

教育推進・学生支援機構（以下、機構）は、機構と学部・研究科、学生スタッフが相互に「対話と協働」を展開しながら、先にあげた目標を実現していくことを大きな特徴としている。学内の様々な部局からスタッフが集い、2013年12月にスタートした。

#### アドミッション・センター

入試改善の検討、広報活動及び高大接続に関する事業の実施など

全学入学試験委員会

#### 基盤教育センター

共通教育（基盤教育）とその学修支援の企画・実施、点検・評価、全学共通教育に関するカリキュラム編成、初年次教育などの学修支援に関する事業の実施など

イングリッシュ・センター

#### キャリア・学生支援センター

就職支援、経済支援、キャンパスライフ支援、キャリア教育、キャリア形成支援、課外活動支援、QTA/GSI制度に関する事業の実施など

#### 教職課程支援センター

教育学部以外の教職科目の授業支援、教育実習・教職実践演習支援、教員採用等就職支援に関する事業の実施

#### 教学DX推進センター

学修者本位の教育の実施（学生ステータス・システム）、機構LMS、教学IR、数理・データサイエンス・AI教育に関する事業の実施など

#### 地域高等教育連携センター

岐阜地域から教育に関するニーズ、課題を抽出し、教育事業やコンテンツのプランニングの実施。ネットワーク大学コンソーシアム岐阜に関する事業の実施など

## ■ 学生数

### 学部学生

2023年5月1日現在(人)										
学 部	学科等	入 学 定 員	編入学	現 員						計
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
教育学部		220		232 (130)	233 (133)	228 (127)	277 (147)			970 (537)
地域科学部		100	10	105 (61) 1 (0)	104 (57) 2 (0)	111 (69) 7 (1)	136 (81)			456 (268) 10 (1)
医学部	医学科	110		118 (56) 1 (0)	115 (44) 1 (1)	99 (40) 1 (1)	97 (30) 1 (0)	104 (35) 2 (1)	119 (31) 1 (1)	652 (236) 7 (4)
	看護学科	80		84 (78)	80 (73)	85 (83)	74 (70)			323 (304) 0 (0)
工学部		510	30	546 (95) 1 (1)	547 (79) 5 (2)	517 (86) 5 (1)	623 (88) 8 (2)			2,233 (348) 19 (6)
応用生物科学部	応用生命科学課程 生産環境科学課程	160	10	171 (105) 1 (1)	181 (91) 2 (2)	171 (112) 2 (1)	181 (98) 2 (1)			704 (406) 7 (5)
	共同獣医学科	30		34 (19)	36 (22)	28 (21)	28 (20)	32 (22)	29 (17)	187 (121) 0 (0)
社会システム経営学環		30		30 (14)	32 (22)	32 (21)				94 (57) 0 (0)
合 計		1,240	50	1,320 (558) 4 (2)	1,328 (521) 10 (5)	1,271 (559) 8 (3)	1,416 (534) 18 (4)	136 (57) 2 (1)	148 (48) 1 (1)	5,619 (2,277) 43 (16)

現員には外国人留学生を含み、( )内は女子を、下段は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

### 大学院学生

#### 専門職学位課程（教職大学院課程）

2023年5月1日現在(人)										
研究 科	課 程	入 学 定 員	現 員						学 位 名	
			1年次	2年次	計					
教育学研究科	専門職学位課程	40	33 (9)	34 (12)	67 (21)				教職修士(専門職)	

#### 修习課程、博士前期課程

2023年5月1日現在(人)										
研 究 科	課 程	入 学 定 員	現 員						学 位 名	
			1年次	2年次	計					
教育学研究科	修士課程	5	5 (5)	13 (7)	18 (12)				修士(教育学)	
地域科学研究科	修士課程	20	14 (8) 8 (7)	19 (9) 12 (6)	33 (17) 20 (13)				修士(地域科学)	
医学系研究科 (医療者教育学専攻)	修士課程	6	7 (2)	6 (2)	13 (4)				修士(医療者教育学)	
医学系研究科 (看護学専攻)	修士課程	8	6 (4)	12 (8)	18 (12)				修士(看護学)	
自然科学技術研究科	修士課程	375	493 (118) 34 (11)	474 (102) 28 (11)	967 (220) 62 (22)				修士(応用生物科学、工学 又は食品科学技術)	

#### 博士課程、博士後期課程

2023年5月1日現在(人)									
研 究 科	課 程	入 学 定 員	博士課程・博士後期課程				小 計	学 位 名	
			1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次			
医学系研究科	博士課程	47	53 (14) 3 (2)	61 (13)	35 (6)	75 (26) 3 (1)	224 (59) 6 (3)	博士(医学)	
	博士後期課程				2 (2)		2 (2)	博士(再生医科学)	
工学研究科	博士課程	27	27 (7) 15 (4)	25 (7) 14 (5)	63 (13) 29 (8)		115 (27) 58 (17)	博士(工学又は学術)	
共同獣医学研究科	博士課程	6	7 (1)	5 (0)	7 (2)	6 (1)	25 (4) 4 (0)	博士(獣医学)	
連合農学研究科	博士課程*	20	34 (17) 17 (12)	25 (10)	58 (22) 25 (10)		117 (49) 56 (28)	博士(農学又は学術)	
連合獣医学研究科	博士課程					5 (2)	5 (2)	博士(獣医学)	
連合創薬医療情報研究科	博士課程*	6	5 (2) 1 (1)	5 (2) 2 (2)	10 (4)		20 (8) 3 (3)	博士(工学、医科学 又は薬科学)	
大学院生 合計			560				1,624 (437) 209 (86)		

現員には外国人留学生を含み、( )内は女子を、下段は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

\*連合農学研究科及び連合創薬医療情報研究科は、後期3年のみの博士課程。

## 配置大学別学生数

研究 科	配 置 大 学	現 員				計
		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
連合農学研究科	静岡大学	4 (3)	4 (3)	10 (3)		18 (9)
	岐阜大学	30 (14)	21 (7)	48 (19)		99 (40)
連合獣医学研究科	東京農工大学					3 (0)
	岐阜大学					2 (2)
合 計			34 (17)	25 (10)	58 (22)	122 (51)

現員には外国人留学生を含み、( )内は女子を内数で示す。

## 研究生・科目等履修生・聴講生等

部 局 等	研 究 生	特 別 研 究 学 生	科 目 等 履 修 生	聴 讲 生	特 別 聆 讲 学 生	内 地 留 学 生	現 職 教 育	研 修 留 学 生	日本 文 化	受 託 研 修 生	短 期 特 定 课 题	計
教育学部	2 (2)			2 (2)		2 (1)						6 (5)

## ■ 入学状況

### 学部

学 部	1年次入学					3年次編入学				
	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
教育学部	220	513	460	243	232	-	-	-	-	-
地域科学部	100	435	285	113	105	10	20	12	10	8
医 学 部	医学科	110	702	540	111	110	-	-	-	-
	看護学科	80	378	226	82	80	-	-	-	-
工 学 部		510	2,074	1,438	570	523	30	86	79	25
応用生物科学部	応用生命科学課程	160	583	400	185	171	10	29	28	10
	生産環境科学課程									7
共同獣医学科		30	135	124	33	33	-	-	-	-
社会システム経営学環		30	68	56	31	30	-	-	-	-
合 計		1,240	4,888	3,529	1,368	1,284	50	135	119	59

\*医学科の受験者数は、第1段階選抜（一般選抜・前期日程において実施）で不合格となった者を含まない。※外国人留学生を含む。

### 大学院

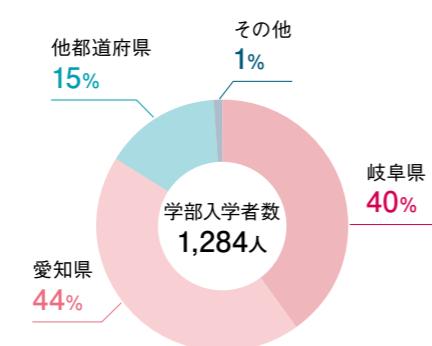
研究科等		入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
教育学研究科	専門職学位課程（教職大学院課程）	40	39	37	35	33
	修士課程	5	23	23	10	5
地域科学研究科	修士課程	20	21	21	16	14
	看護学専攻（修士課程）	8	8	8	7	6
医学系研究科	医療者教育学専攻（修士課程）	6	12	11	7	7
	医科学専攻（博士課程）	47	51	51	49	46
工学研究科	博士課程	27	17	17	17	17
自然科学技術研究科	修士課程	375	568	551	507	484
共同獣医学研究科	博士課程	6	5	5	5	5
連合農学研究科	博士課程	20	24	23	23	22
連合創薬医療情報研究科	博士課程	6	0	0	0	0
合 計		560	768	747	676	639

\*入学者数は、4月入学者数（10月入学予定者は、医学系研究科に2名、連合農学研究科に6名あり）※外国人留学生を含む。

### 出身高校等の所在地別入学状況（学部・3年次編入学除く）

学 部	愛 知 県	岐 阜 県	滋 賀 県	三 重 県	大 阪 府	静 岡 県	兵 庫 県	京 都 府	他 都 道 府 県	*そ の 他	計
教育学部	57	159	1	2	0	4	2	0	7	0	232
地域科学部	44	48	1	0	0	3	1	1	5	2	105
医 学 部	76	78	1	0	3	1	1	2	28	0	190
工 学 部	293	168	10	8	6	4	5	4	25	0	523
応用生物科学部	90	49	9	8	6	1	3	4	32	2	204
社会システム経営学環	10	15	2	0	0	1	0	0	2	0	30
合 計	570	517	24	18	15	14	12	11	99	4	1,284

\*その他には高等学校卒業程度認定試験、外国の学校等を含む。※外国人留学生を含む。



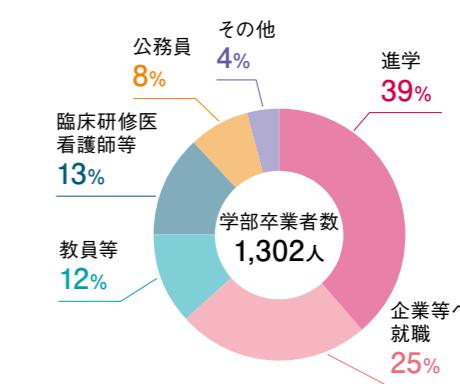
## ■ 学部卒業者数・進路状況

### 学部卒業者数

学 部 名	2022 年度	累 計
教育学部	258	19,708
地域科学部	113	2,748
医 学 部	182	6,287
工 学 部	538	26,992
応用生物科学部	211	14,383 *
計	1,302	70,965

\*農学部の卒業生を含む。

### 卒業者進路状況



### 2022年度卒業者進路状況

#### 進路状況

学部名 区 分	教育学部	地域科学部	医 学 部		工 学 部	応用生物科学部	計
			医 学 科	看護学科			
卒業者数	258 (148)	113 (65)	103 (35)	79 (77)	538 (87)	211 (131)	1,302 (543)
進学者数	33 (13)	4 (1)		3 (2)	362 (46)	101 (61)	503 (123)
就職者数	215 (130)	104 (62)	1 (0)	73 (72)	160 (38)	99 (65)	652 (367)
社会人学生 (現職にとどまる者)							0 (0)
臨床研修医				97 (34)			97 (34)
その他	10 (5)	5 (2)	5 (1)	3 (3)	16 (3)	11 (5)	50 (19)
計	258 (148)	113 (65)	103 (35)	79 (77)	538 (87)	211 (131)	1,302 (543)

#### 就職者 産業別状況

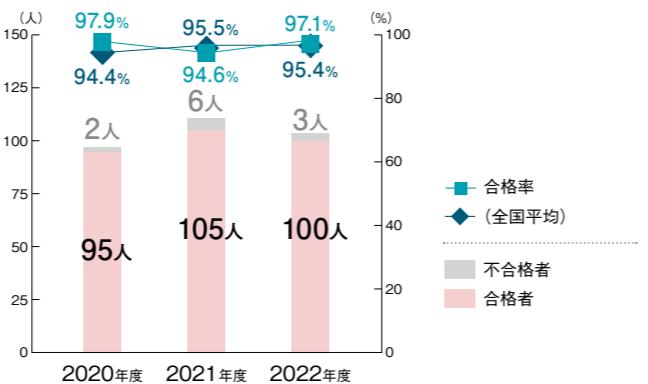
学部名 産業分類	教育学部	地域科学部	医 学 部		工 学 部	応用生物科学部	計
			医 学 科	看護学科			
農業、林業、漁業						6 (4)	6 (4)
鉱業、採石業、砂利採取業							0 (0)
建設業			5 (4)			18 (3)	4 (3)
製造業	10 (8)	9 (1)			71 (19)	20 (15)	110 (43)
電気・ガス・熱供給・水道業			2 (2)			1 (1)	3 (3)
情報通信業	9 (5)	11 (8)			28 (5)	5 (4)	53 (22)
運輸業、郵便業			2 (1)			4 (1)	6 (2)
卸売業、小売業	6 (2)	6 (4)			1 (1)	4 (2)	17 (9)
金融業、保険業	4 (2)	10 (3)			1 (0)	1 (1)	16 (6)
不動産取引・賃貸・管理業			1 (1)		1 (0)		2 (1)
学術研究、専門・技術サービス業			5 (3)		1 (0)	28 (15)	34 (18)
宿泊業、飲食サービス業	1 (1)	2 (2)					3 (3)
生活関連サービス業、							

## ■ 国家試験合格状況・教員採用状況

### 医師国家試験合格状況

	2020年度	2021年度	2022年度
受験者数	97	111	103
合格者数	95	105	100
不合格者数	2	6	3
合格率	97.9%	94.6%	97.1%
(全国平均)	94.4%	95.5%	95.4%

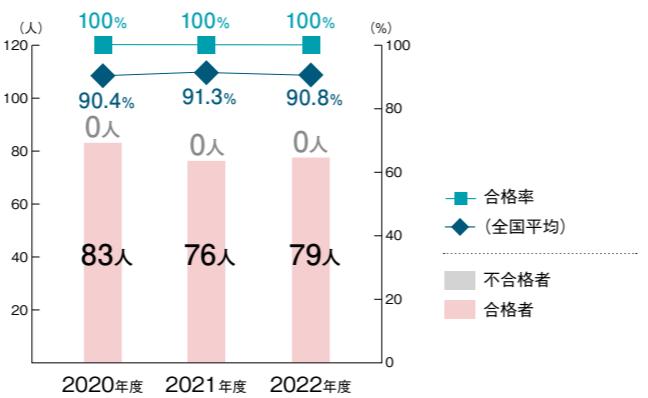
\*新卒者のみ



### 看護師国家試験合格状況

	2020年度	2021年度	2022年度
受験者数	83	76	79
合格者数	83	76	79
不合格者数	0	0	0
合格率	100%	100%	100%
(全国平均)	90.4%	91.3%	100%

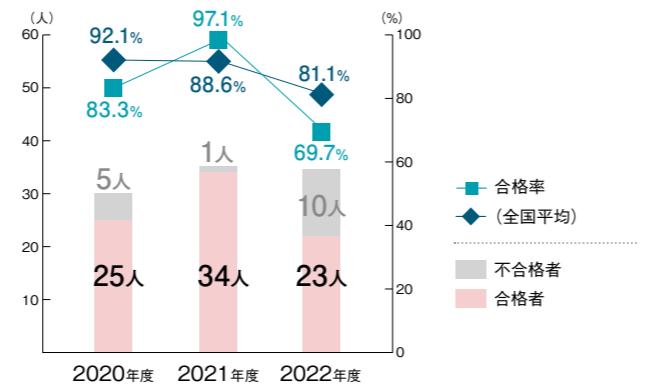
\*新卒者のみ



### 獣医師国家試験合格状況

	2020年度	2021年度	2022年度
受験者数	30	35	33
合格者数	25	34	23
不合格者数	5	1	10
合格率	83.3%	97.1%	69.7%
(全国平均)	92.1%	88.6%	81.1%

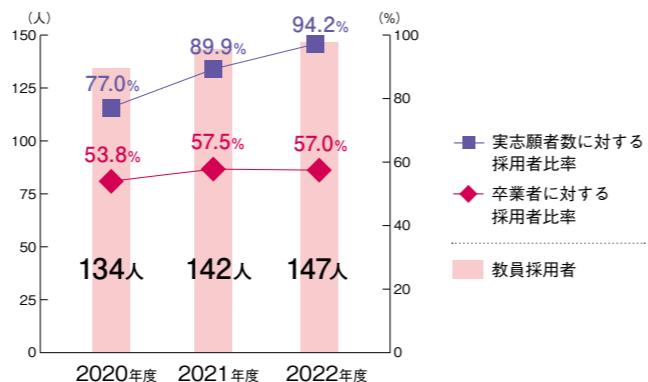
\*新卒者のみ



### 教員採用率(教育学部)

	2020年度	2021年度	2022年度
卒業者数	249	247	258
教員実志願者数	174	158	156
教員採用者数	134	142	147
(うち臨時採用者数)	31	32	29
志願者数に対する採用者比率	77.0%	89.9%	94.2%
卒業者に対する採用者比率	53.8%	57.5%	57.0%

\*学校教育教員養成課程、特別支援学校教員養成課程のみ



## ■ 大学院(修士・博士前期課程)修了者数・進路状況

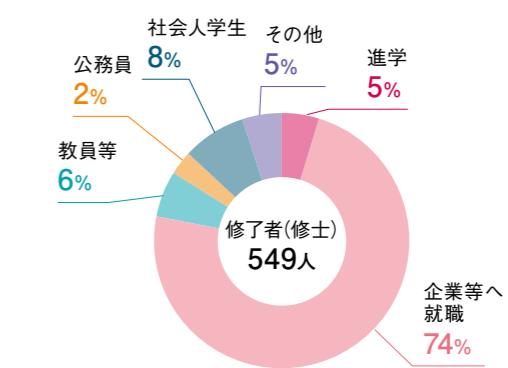
### 学位授与者数(修士)

修士	2022年度	累計
教育学	74	1,860 *1
地域科学	16	416
再生医科学		197
医療者教育学	6	18
看護学	11	111
工学	339	10,257
応用生物科学	103	3,597 *2
食品科学技術		4
計	549	16,460

\*1 教職修士(専門職)の学位授与者を含む。

\*2 農学の学位授与者を含む。

### 修士・博士前期課程 修了者進路状況



### 2022年度修了者進路状況(修士・博士前期課程)

#### 進路状況

区分	研究科名	教育学研究科		地域科学研究科	医学系研究科	自然科学技术研究科	計
		修了者数	専門職学位課程	修了者数	修了者数	修了者数	
	修了者数	50 (31)	24 (12)	16 (10)	17 (12)	442 (104)	549 (169)
	進学者数			1 (0)		25 (10)	26 (10)
	就職者数	42 (26)	6 (3)	4 (2)		402 (86)	454 (117)
	社会人学生 (現職にとどまる者)	4 (1)	18 (9)	2 (0)	17 (12)	1 (1)	42 (23)
	臨床研修医					0 (0)	0 (0)
	その他	4 (4)		9 (8)		14 (7)	27 (19)
	計	50 (31)	24 (12)	16 (10)	17 (12)	442 (104)	549 (169)

#### 就職者産業別状況

産業分類	研究科名	教育学研究科		地域科学研究科	医学系研究科	自然科学技术研究科	計
		修士課程	専門職学位課程	修士課程	修士課程	修士課程	
農業、林業						3 (0)	3 (0)
鉱業・採石業、砂利採取業						0 (0)	0 (0)
建設業						19 (2)	19 (2)
製造業				1 (1)		280 (65)	281 (66)
電気・ガス・熱供給・水道業						13 (2)	13 (2)
情報通信業		3 (2)				48 (2)	51 (4)
運輸業、郵便業		1 (1)				2 (0)	3 (1)
卸売業、小売業				1 (1)		3 (0)	4 (1)
金融業、保険業				1 (0)		1 (0)	0 (0)
不動産取引・賃貸・管理業							0 (0)
学術研究、専門・技術サービス業						11 (7)	11 (7)
宿泊業、飲食サービス業						0 (0)	0 (0)
生活関連サービス業、娯楽業						0 (0)	0 (0)
学校教育		27 (14)	6 (3)			1 (0)	34 (17)
その他の教育、学習支援業		1 (1)				3 (3)	4 (4)
医療業、保健衛生		4 (2)				4 (2)	4 (2)
社会保険・社会福祉・介護事業		3 (3)				3 (3)	3 (3)
複合サービス事業						1 (0)	1 (0)
宗教、その他のサービス業		1 (1)		1 (0)		5 (2)	7 (3)
国家公務		2 (2)				5 (2)	5 (2)
地方公務						7 (0)	9 (2)
その他						1 (1)	1 (1)
計		42 (26)	6 (3)	4 (2)	0 (0)	402 (86)	454 (117)

( ) 内は女子を内数で示す。

## ■ 大学院(博士・博士後期課程)修了者数・進路状況

学位授与者数(博士)

博士	2022年度	累計	(人)
医学	課程博士	34	1,236
	論文博士	3	1,513
再生医科学	課程博士	1	74
	論文博士	0	10
工 学	課程博士	22	661
	論文博士	0	87
農 学	課程博士	19	820
	論文博士	4	164
獣 医 学	課程博士	7	612
	論文博士	1	177
薬 科 学	課程博士	0	30
	論文博士	0	3
医 科 学	課程博士	1	24
	論文博士	1	1
計	93	5,412	

2022年度修了者進路状況(博士・博士後期課程)

進路状況

区分	研究科名	医学系研究科		工学研究科	共同獣医学研究科*	連合農学研究科	連合創薬 医療情報研究科	計
		博士後期課程	博士課程					
修了者数		2 (1)	34 (9)	21 (3)	7 (2)	19 (4)	3 (1)	86 (20)
進学者数								0 (0)
就職者数		1 (0)	1 (1)	13 (2)	4 (1)	9 (1)	2 (0)	30 (5)
社会人学生 (現職にとどまる者)		1 (1)	33 (8)	5 (0)	3 (1)	6 (1)		48 (11)
臨床研修医								0 (0)
その他				3 (1)		4 (2)	1 (1)	8 (4)
計		2 (1)	34 (9)	21 (3)	7 (2)	19 (4)	3 (1)	86 (20)

就職者 産業別状況

産業分類	研究科名	医学系研究科		工学研究科	共同獣医学研究科*	連合農学研究科	連合創薬 医療情報研究科	計
		博士後期課程	博士課程					
農業、林業								0 (0)
鉱業、採石業、砂利採取業								0 (0)
建設業				1 (0)				1 (0)
製造業				1 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	5 (0)
電気・ガス・熱供給・水道業								0 (0)
情報通信業								0 (0)
運輸業、郵便業								0 (0)
卸売業、小売業								0 (0)
金融業、保険業								1 (0)
不動産取引・賃貸・管理業								0 (0)
学術研究、専門・技術サービス業								5 (1)
宿泊業、飲食サービス業								0 (0)
生活関連サービス業、娯楽業								0 (0)
学校教育		1 (1)		7 (1)	2 (0)	5 (1)		15 (3)
その他の教育、学習支援業				1 (1)				1 (1)
医療業、保健衛生							1 (0)	1 (0)
社会保険・社会福祉・介護事業								0 (0)
複合サービス事業								0 (0)
宗教、その他のサービス業								0 (0)
国家公務								0 (0)
地方公務								0 (0)
その他								0 (0)
計		0 (0)	1 (1)	13 (2)	4 (1)	9 (1)	2 (0)	29 (5)

( ) 内は女子を内数で示す。\*連合獣医学研究科の学生も含む

## ■ 学生支援施設

### 福利厚生施設等



黒野寮

### 体育施設・課外活動施設

屋内体育施設		屋外体育施設		課外活動施設	
施設名	施設の内容	施設名	施設の内容	施設名	施設の内容
体育館	第1体育館、第2体育館更衣室 (ロッカー・シャワー)、器具庫 フィットネスルーム	陸上競技場	400m 8コース	体育系サークル 共用室	10室(1室2サークル) 会議室1室
		野球場			
		テニスコート	12面(人工芝6面、全天候6面)	文化系サークル 共用施設	10室(1室和室) (1室2~4サークル)
		武道場	(剣道場、柔道場)		
		弓道場		合宿所	研修室(宿泊室と兼用)4室、 浴室、補食室
				ハンドボール コート	2面(クレー1面、全天候1面)
				バスケット ボールコート	3面(全天候)
				サッカー場	1面
				ラグビー場	1面
				水泳プール	1基(50m 8コース)

## ■ 学生サークル活動

### 課外活動団体一覧

2023年5月1日現在

#### 全行事団体 (3 団体)

- ◆ 岐阜大学祭全学執行委員会
- ◆ 岐阜大学全学春祭実行委員会
- ◆ 岐阜大学学生企業展実行委員会

#### 文化系サークル (33 団体)

- ◆ アコースティックギターサークル 夾
- ◆ 裏千家茶道部
- ◆ 演劇研究会
- ◆ 学生団体 Dream Box
- ◆ 学生保安消防隊
- ◆ 学生放送研究会ラジオ
- ◆ 環境ユニバーシティ学生推進室 (G-amet)
- ◆ 管弦楽団
- ◆ ギター・マンドリンクラブ
- ◆ 競技かるた部
- ◆ 軽音楽部
- ◆ コーラスクラブ
- ◆ GI (岐阜大学生協学生委員会)
- ◆ 児童文化人形劇研究会コロッポ
- ◆ ジャグリングサークル Juggrass
- ◆ 写真研究会
- ◆ 吹奏楽団
- ◆ 生物科学研究会
- ◆ 地域ねこサークル
- ◆ ツキノワグマ研究会
- ◆ テーブルゲームサークル
- ◆ 動物園学生くらぶ
- ◆ 美術部
- ◆ フォーク村
- ◆ 文芸サークル
- ◆ 邦楽部
- ◆ 星を観る会
- ◆ 漫画研究会
- ◆ ユネスコ学生クラブ
- ◆ 落語研究会
- ◆ Ryugaku Love
- ◆ 緑化研究会 Three trees
- ◆ ロボコンサークル

#### 体育系サークル (34 団体)

- ◆ 合気道部
- ◆ アメリカンフットボール部
- ◆ 居合道部
- ◆ 空手道部
- ◆ 弓道部
- ◆ 剣道部
- ◆ 航空部
- ◆ 硬式庭球部
- ◆ 硬式野球部
- ◆ サッカー部
- ◆ 山岳部
- ◆ 自動車部
- ◆ 柔道部
- ◆ 準硬式野球部
- ◆ 少林寺拳法部
- ◆ 水泳部
- ◆ ストリートダンス部 MEC
- ◆ ソフトテニス部
- ◆ 体操競技部
- ◆ 卓球部
- ◆ チアリーダー部 Stars
- ◆ テコンドー部
- ◆ 馬術部
- ◆ バドミントン部
- ◆ バレーボール部
- ◆ ハンドボール部
- ◆ フォーミュラレーシング
- ◆ ポート部
- ◆ よさこいサークル騒屋
- ◆ ラクロス部
- ◆ ラグビー部
- ◆ 陸上競技部
- ◆ ワンダーフォーゲル部

#### 医学部学生団体 (運動部) (19 団体)

- ◆ 水泳
- ◆ バスケットボール
- ◆ 硬式テニス
- ◆ サッカー
- ◆ 陸上
- ◆ スキー
- ◆ ポート
- ◆ ハンドボール
- ◆ 山岳
- ◆ 準硬式野球
- ◆ ソフトテニス
- ◆ ゴルフ
- ◆ ラグビー
- ◆ 馬術
- ◆ バドミントン
- ◆ 弓道
- ◆ 剣道
- ◆ バレーボール
- ◆ 卓球

#### 医学部学生団体 (文化部) (13 団体)

- ◆ GEMs(岐阜救急医療学生研究会)
- ◆ 奥穂高診療クラブ
- ◆ ぎふ医療ケアサークル
- ◆ 箏曲
- ◆ 囲碁
- ◆ リーベ・バルツェ (軽音)
- ◆ 美術
- ◆ カスタニユエラ (バンド)
- ◆ きりんの会 (臨床技能)
- ◆ GIFMSA(国際医学生連盟岐阜)
- ◆ ピアノ
- ◆ 室内合奏団
- ◆ アウトドア

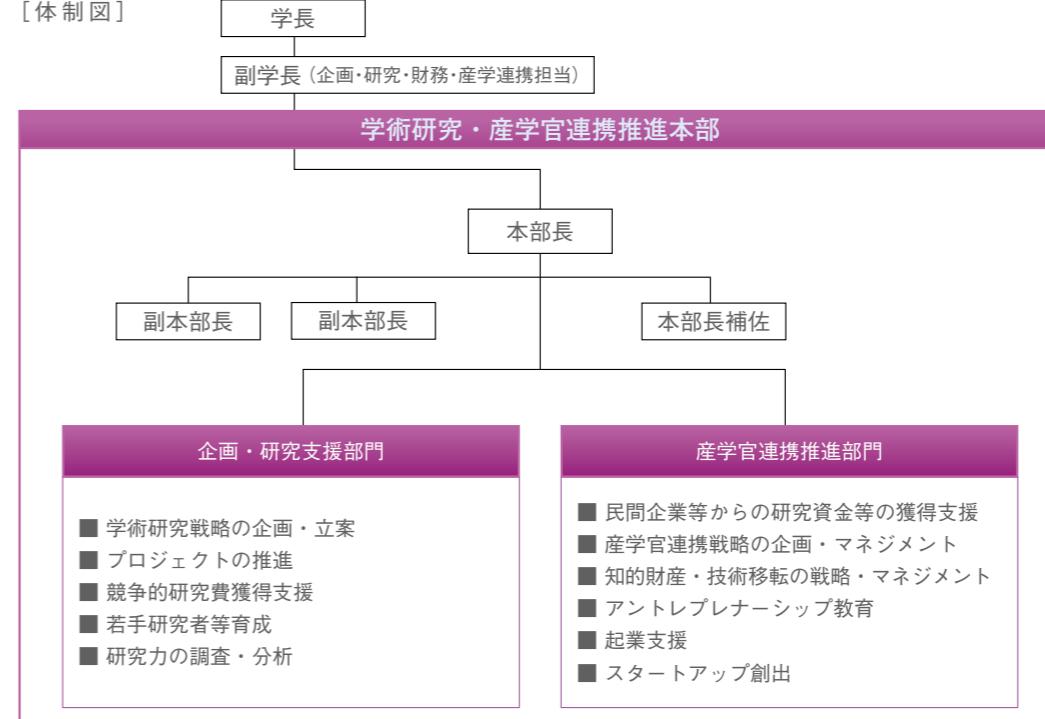
上記の他に、同好会 (44 団体) がある。

### 研究 Research

# 究める岐阜大学

## ■ 学術研究・产学官連携推進本部

[体制図]



## ■ 高等研究院

### 学長

### 副学長（企画・研究・財務・产学連携担当）



連携・協力

### 高等研究院

#### 研究員長

#### 運営委員会

#### 副研究員長

#### 研究拠点

航空宇宙生産技術開発センター

#### 研究センター

地域創生エネルギーシステム研究センター

#### 研究基盤支援センター

地域環境変動適応研究センター

#### 全学技術センター

Gu コンポジット研究センター

微生物遺伝資源保存センター

地域滅災研究センター

人工知能研究推進センター

脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター

先制食未来研究センター

One Medicine トランスレーショナルリサーチセンター

## 特色ある研究の取り組み

### 東海国立大学機構直轄拠点

#### 糖鎖生命コア研究拠点

本研究拠点は、岐阜大学の糖鎖化学分野・糖鎖イメージング分野と名古屋大学の糖鎖生物学分野・糖鎖医学分野の世界トップレベルの研究者が集結した世界で無二の統合的糖鎖拠点である。核酸、タンパク質に続く第3の生命鎖である糖鎖の統合的研究により新たな生命原理の解明、個別予防や未病検知といった医療革新につながる基礎研究を推進するため、機構内の研究力を結集し、国際的な研究戦略のもとに世界でのリーダーシップを発揮する。

#### 健康医療ライフデザイン統合研究教育拠点

本研究教育拠点は、信頼できる健康医療データ基盤を構築し、英語の「Life」にある3つの意味、「いのち」、「生活」、「人生」のそれを対象にデザインした研究教育を統合的に行なうことで、社会的課題を解決して人と社会に貢献する。

#### 航空宇宙研究教育拠点

本研究拠点は、急速に変化する航空宇宙分野の技術・社会要請に対して、学際体制および産学官の強固な連携により、航空宇宙産業における国際競争力の向上のため、研究開発及び人材育成を行う。

#### 低温プラズマ総合科学研究拠点

本研究拠点は、持続的に基礎科学の進化から迅速に新価値を創成し、社会実装に直結する世界的な研究を牽引する。低温プラズマ科学の学術分野の技術の標準化と継承を効率的に進め、全国と世界の研究機関、企業群との間で実施する研究のマネジメント機能を強化し、低温プラズマ科学デジタルラボシステムの構築を進める。

#### One Medicine創薬シーズ開発・育成研究教育拠点

本研究拠点は、比較医学に基づくオーダーメイド型疾患モデル動物を強みとして、構造生物学や細胞・再生医学、インフォマティクスにもとづき核酸から蛋白質、細胞、人工マテリアルまで多様なモダリティによる創薬シーズを開発・育成し、量子技術、AIを駆使した先端医療機器を組み合わせることで、臨床Proof of Concept (POC) 取得成功率の高い有望な創薬シーズを高度に選別し、非臨床試験、治験につなげる研究拠点として、新たな創薬研究の先導をめざす。

### 研究所

#### 糖鎖生命コア研究所（2021年1月設置）

本研究所は、糖鎖生命コア研究拠点の研究戦略に基づき、糖鎖研究を行うための組織として名古屋大学と共同で設置した。糖鎖生物学・医学と糖鎖分子科学（化学、生化学、生物物理学、分析化学、数理）のトップランナーが集結した日本で最大の糖鎖研究に特化した研究所である。異分野の糖鎖研究を融合することにより、生命的本質・原理（コア）を1分子レベルから個体レベルまでのマルチスケールの研究で明らかにすることを目的とする。研究所の主幹事業として自然科学研究機構及び創価大学と共に実施している大規模糖鎖研究プロジェクト「ヒューマングライコームプロジェクト（Human Glycome Atlas Project : HGA）」は、令和5年度から生命科学領域において初の文部科学省「大規模学術フロンティア促進事業」として推進されている。さらに、令和4年度より文部科学大臣認定の共同利用・共同研究拠点「糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点（J-GlycoNet）」の中核拠点として国内外での異分野融合を推進し、糖鎖研究を先導する国際拠点としての基盤を確立する。

### 研究拠点

#### 航空宇宙生産技術開発センター（2019年4月設置）

航空宇宙研究教育拠点で実施している「日本一の航空宇宙産業クラスター形成を目指す生産技術の人材育成・研究開発プロジェクト」を推進し、生産システムアーキテクトの育成及び最先端の生産技術に関する革新的な研究開発を行う。

### 研究センター

#### 地方創生エネルギーシステム研究センター（2018年4月設置）

再生可能エネルギー利用によるCO<sub>2</sub>フリーエネルギーを「つくる」、「ためる」、「はこぶ」、「つかう」革新的コア技術を基盤に、「地産地消型地域エネルギーシステム」（地方創生モデル）を産官学連携して社会実装を図る。このモデルを実現するために、再生可能エネルギー高効率利用およびカーボンリサイクルなどの革新的要素技術を個別にブレークスルーするだけでなく、電動車両によるバーチャルグリッドエネルギーシステムや自立分散型エネルギーシステムを統合したカーボンニュートラルエネルギーシステムの構築を目指す。

【研究開発分野】エネルギー創造分野、キャリア・ストレージ分野、新産業創出分野、エネルギー・システム統合分野 計55人

#### 地域連携スマート金型技術研究センター（2018年4月設置）

岐阜大学のものづくり分野に関する研究力を、AIとIoT分野の研究力でさらに強化し、スマート金型に代表される生産技術開発、高信頼性設計技術や3D造形技術の開発および人材育成で、我が国のあらゆる製造企業の国際競争力向上に貢献することを目的としている。

【研究開発部門】データ解析技術研究部門、加工技術研究部門、設計技術研究部門、3D造形技術研究部門、人材育成部門、地域連携部門 計36人

#### Guコンポジット研究センター（2018年4月設置）

ものづくり分野の研究センターとして、分子の集合体から纖維と樹脂の複合体まで、マルチスケールに複合材料を研究している。物質化学、生命化学、機械工学から医学に至る複合領域体制により、テラードマテリアル&デザインによる少量多品種のものづくりを確立し、航空機、自動車などの軽量部材にとどまらず、人体と関わる複合材料の開発を進めている。また、東海北陸地区の複合材料3センターのひとつとして、地域産業との協力体制を推進すると同時に、グローバルな展開を目指している。

【研究開発部門】バリアフリー・マテリアル領域、ヒューマンコンポジット領域、コンポジットリサイクル領域 計47人

#### 脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター（2021年11月設置）

カーボンニュートラルの実現などの気候変動対策は、自然環境を生存基盤とする人類の存続の危機に関わる課題である。教育・研究・社会貢献活動を通じた国や地域との連携により、この重要課題に取り組むことが大学にも期待されている。東海国立大学機構では、岐阜大学と名古屋大学の「知」を総動員して課題解決に取り組むとともに、広く社会と連携してカーボンニュートラルの達成に向けて積極的に貢献していくこととしている。当センターでは、気候変動や自然资源の利活用、再生可能エネルギーに関わる研究、教育、普及の推進に必要とされるさまざまな学術分野の連携、および大学と地域の連携の促進を図る。

【分野】ゼロカーボン・キャンパス分野、地域ゼロカーボン分野、イノベーション分野、人材育成分野 計14人

### 先制食未来研究センター（2022年4月設置）

日本の高齢化率をふまえた健康寿命の延伸を課題とし、生活習慣病やフレイル、認知症といった疾病的発症・重症化予防に資する「食」を明らかにすることを目的とする。これにより、「ガストロノーマニフェスト（食革新）」を策定し、その実践を通して、健康寿命の延伸に寄与する「人類の食の未来ビジョン」を提案することを目指す。

【研究開発部門】食未来研究部門、地域コホート研究部門、先制食研究部門 計14人

### 地域環境変動適応研究センター（2020年2月設置）

地域で顕在化しつつある気候変動（地球温暖化）の影響や人口減少等の社会環境変化への「適応」に向けた多様なニーズに応える研究開発を、気象・森林・水文・河川・農業・生態系・社会システムにまたがる幅広い専門分野の連携によって推進する。地域のステークホルダーとの協働を通じて、地域における複合的な環境課題に対する影響評価技術及び適応策を共創するとともに、適応ビジネスの支援を行う。

岐阜県気候変動適応センター（2020年4月設置）を岐阜県と共同で運営し、行政ニーズに沿った共同研究、普及啓発支援、人材育成を行う。

【研究開発部門】地域気候変動研究部門、森林研究部門、水環境研究部門、農業適応研究部門、社会システム研究部門、地域連携研究部門 計18人

### Coデザイン研究センター（2020年4月設置）

地域価値を高め、人々の生活を豊かにする地域づくりシンクタンクとして、ひと・まち・かの望ましいシステムを学際的に探究し、産官学が協働して活力ある持続可能な社会の実現を図る。経験価値を創出するデザイン主導のアプローチとともに、都市計画、総合防災、景観デザイン、都市形成史、資源利用、ニーズ評価、商品開発、経済効果計測、意識構造分析、人材育成・教育効果の分析等のデータ主導のアプローチを併せた総合企画・総合政策を共創し、ニーズの抽出から目的の達成・効果の検証まで共にデザイン研究する。

【研究開発部門】ひとデザイン分野、まちデザイン分野、かちデザイン分野 計15人

### 微生物遺伝資源保存センター（2016年4月設置）

国としても重要な微生物遺伝資源である病原微生物株の保存センター。病原細菌の網羅的なコレクションを維持している。維持管理だけでなく、分譲可能な保有微生物株及び付随する遺伝情報については分譲もおこなう。これらの業務を通して社会のニーズに即した研究及び産業応用に資する微生物遺伝資源の利用促進を図り、社会に貢献することを目的としている。貴重な微生物株については、寄託も受け付けている。

【業務】系統収集・維持・分譲 計6人（教員2人（兼務）、補佐員4人）

### 地域減災研究センター（2015年4月設置）

岐阜大学の防災・減災に関する研究シーズや高度な専門知識に基づいた「知の拠点」として地域のシンクタンク機能を担い、これによって、地域のニーズに応えて防災・減災力を強化することを目指したセンターである。具体的には、防災・減災に関する学術的・実践的な調査研究を推進するとともに、地域防災力向上のための新たな仕組み・事業を提案している。さらに、実効性の高い災害対策を策定・推進するため、専門的知見に基づいて政策決定支援・技術支援・地域課題解決支援を行っている。

【研究部門】減災技術開発部門、灾害医療部門、減災社会推進部門、特任准教授 計42人

### 人工知能研究推進センター（2019年4月設置）

最先端の人工知能、IoT、データ科学の周辺研究を推進するとともに、学部間を横断する研究組織形成の窓口として、新たな人工知能の応用研究を開拓し、本学の強み研究を加速させることを目的とする。そのため、全学の教員、学生に対して人工知能の最新技術に関する勉強会や研究会を開催し、様々な研究分野の研究者がAIを利用できるような環境を構築する。さらに、地域企業との共同研究支援、地域産業への最新技術やAI技術者の供給拠点となることを目指している。

【部門】教育部門、研究部門、共同研究推進部門 計52人

### One Medicineトランスレショナルリサーチセンター（2023年1月設置）

「ヒトと動物の疾病は共通」、すなわち「One Medicine」という視座にたち、医学・獣医学の境界を越えた新たな学際領域を開拓する。そして、医学、獣医学、薬学、工学等の研究者が分野横断的かつ国内外で施設横断的に連携し、有望な創薬シーズを高度に選別し、治験につなげることでヒトと動物の創薬研究を変革する。

「One Medicine」の視座のもと国際的にわが国が後れをとる医薬品開発の成功率を高めるだけでなく、「Sharing Medicine（人獣共通医療学）」という新たな学術領域を開拓する。

【部門】リサーチマネジメント部門、革新的モダリティ創出部門、先端医療機器開発部門、動物医科学研究開発部門 計77人

### 研究基盤支援センター

#### 科学研究基盤センター（2018年4月設置）

生命科学総合実験センターの名称で2003年4月に設置された全学の共同教育研究基盤施設。個々の研究室では導入・維持・整備が困難な高額・大型機器を効率的に提供し、一部受託解析も行うことにより、生命科学に関連する先進的分野の教育研究支援を行うとともに、法令遵守のもと維持・管理に労力を要する実験動物飼育、嫌気性菌株保存、放射性同位元素（RI）使用の各施設を提供し、本学における教育研究の総合的推進を図ることを目的としている。

【支援部門】ゲノム研究分野・嫌気性菌研究分野・動物実験分野・機器分析分野・RI実験分野（30人：内教員11人、技術職員4人、補佐員15人）

【共同研究講座】抗酸化研究部門（4人）（計34人）

### 全学技術センター（2020年4月設置）

教育及び研究に対する技術的な支援並びに技術職員の能力等の向上及び技術の継承を行うことにより、本学の教育及び研究の発展に寄与することを目的とする。また、東海国立大学機構内で名古屋大学全学技術センターと連携した組織として設置された統括技術センターを兼務して、コアファシリティを推進することにより、高度な教育・研究環境の提供と地域貢献を行う。

## ■ 科学研究費助成事業

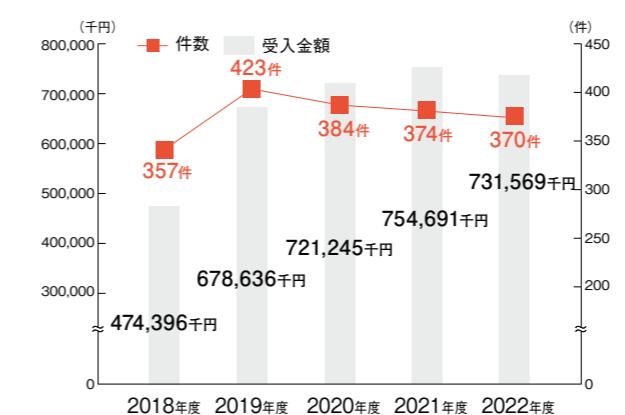
科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金(令和4年度受入実績)

研究種目	件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)	部局別件数																		
				教育学部・教育学研究科	地域科学部	医学部	医学系研究科	医学部附属病院	工学部・工学科	応用生物科学部	社会システム経営学環	連合獣医学研究科	連合農学研究科	連合創薬医療情報研究科	流域圏科学研究センター	保健管理センター	地域協学センター	教育推進・学生支援機構	情報連携統括本部	グローバル推進機構	糖鎖生命コア研究所	
新学術領域研究	2	5,800	1,740			1				1												
学術変革領域研究(A)	1	14,700	4,410						1													
基盤研究(A)	8	84,800	25,440	2						1	1	1	1	1							1	
基盤研究(B)	53	184,600	55,380	3	2	7		21	13	1			2			2				2		
基盤研究(C)	224	207,500	62,250	33	7	13	37	24	54	28	5		5	4	4		2		3	5		
挑戦的研究(開拓)	1	5,000	1,500							1												
挑戦的研究(萌芽)	12	24,100	7,230			3		2	5			1									1	
若手研究	67	70,600	21,180	3	3	1	14	17	10	10		3	1	1		2			2		2	
研究活動スタート支援	4	3,700	1,110		1	1			1			1									1	
奨励研究	3	1,360						3														
特別研究員奨励費(国内)	8	6,700	360						2		6											
特別研究員奨励費(海外)	2	1,700	0						1			1										
国際共同研究強化(B)	8	23,900	7,170	1		1		2	2			1	1									
総計	393	634,460	187,770	42	11	17	63	44	94	61	6	7	2	5	12	5	4	0	6	0	3	12

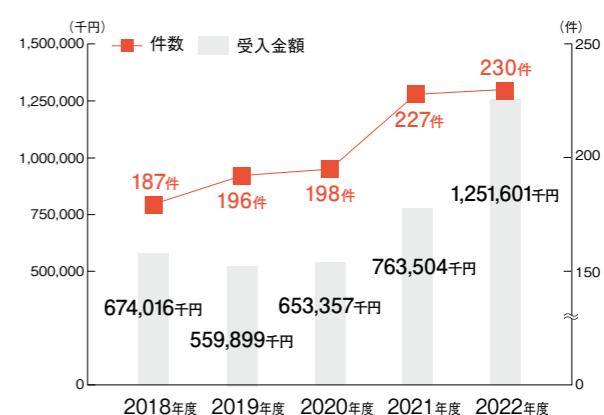
※令和4年度交付内定額

## ■ 共同研究・受託研究

共同研究



受託研究

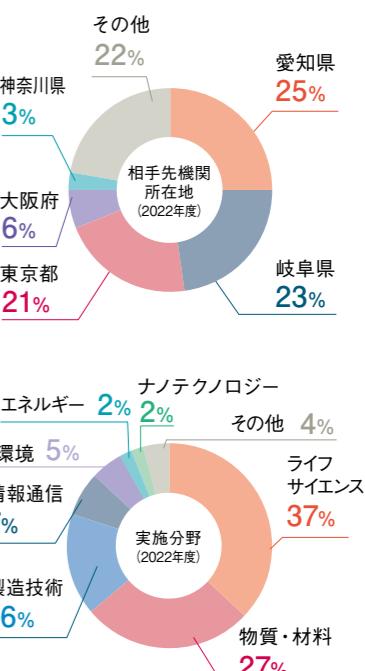


共同研究・受託研究部局別受入実績

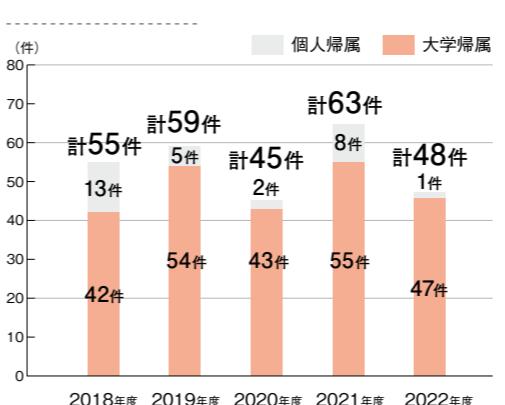
部局	共同研究		受託研究	
	受入件数	受入金額	受入件数	受入金額
教育学部	2	1,461	0	0
地域科学部	1	390	0	0
医学系研究科・医学部	17	121,955	29	200,862
医学部附属病院	12	5,540	106	96,254
工学部	164	291,492	40	427,600
応用生物科学部	92	103,542	23	218,054
社会システム経営学環	1	0	0	0
連合獣医学研究科	0	0	2	4,600
連合農学研究科	7	5,495	1	0
連合創薬医療情報研究科	7	19,970	1	10,010
高等研究院	50	165,355	12	185,847
航空宇宙生産技術開発センター	5	5,409	0	0
糖鎖生命コア研究所	2	0	8	99,355
地域協学センター	0	0	3	1,149
流域圏科学研究センター	7	7,416	5	7,870
学術研究・産官学連携推進本部	1	494	0	0
情報連携推進本部	2	3,050	0	0
合計	370	731,569	230	1,251,601

複数部局での合同契約については、受入金額の多い部局で1件として計上されるため、0件になる場合がある。

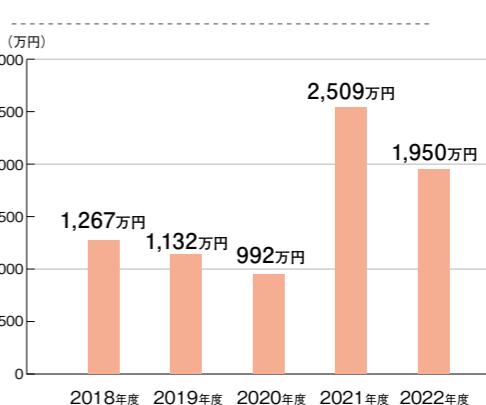
共同研究実績



## ■ 発明届



## ■ ライセンス等収入



社会連携 For society

# 貢献する岐阜大学

## ■ 地域連携

### 地方自治体との協定締結

本学は、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に、地方自治体と連携に関する協定を締結して、多様な分野で連携活動を積極的に進めている。

### 包括連携協定

自治体等	締結日	主な連携活動*
大垣市	2006.3.31	ものづくり岐阜テクノフェアの開催
各務原市 各務原商工会議所	2007.10.10	宇宙工学講座の実施
羽島市	2008.2.26	地域リーダー実践（上級）（次世代地域リーダー育成プログラム上級段階科目）の実施 副市長への統括事業推進コーディネーターの委嘱 市職員への地域コーディネーターの委嘱
岐阜県	2008.3.28	岐阜県・国立大学法人岐阜大学連携推進会議の実施 産学官連携人材育成・定着プロジェクトの実施 自治体協働型インターンシップの実施 県職員への地域コーディネーターの委嘱
関市	2008.9.16	サマースクール（COC+事業の参加大学共通プログラム）の実施
美濃市	2008.12.17	サマースクール（COC+事業の参加大学共通プログラム）の実施
岐阜市	2009.2.27	地域コーディネーター研修プログラムによる市職員の受け入れ
高山市	2009.4.17	市職員への地域コーディネーターの委嘱
御嵩町	2009.10.28	低炭素のまちづくり（太陽光発電の利活用など）への協力
郡上市	2012.3.19	地域リーダー実践（上級）（次世代地域リーダー育成プログラム上級段階科目）の実施 サマースクール（COC+事業の参加大学共通プログラム）の実施 市職員への地域コーディネーターの委嘱
美濃加茂市	2015.9.18	ヤギによる緑地再生共同研究
北方町	2015.11.20	教育、文化及びスポーツの振興に関する事業の実施
中津川市	2015.12.15	地域リーダー実践（上級）（次世代地域リーダー育成プログラム上級段階科目）の実施 市職員への地域コーディネーターの委嘱
揖斐川町	2016.1.19	揖斐川町小津地区の活性化支援
岐南町	2016.1.29	町職員への地域コーディネーターの委嘱
本巣市	2016.5.27	人材の育成に関する事業の実施
山県市	2016.7.1	地域学校協働活動の推進
土岐市	2016.8.2	地域リーダー実践（上級）（次世代地域リーダー育成プログラム上級段階科目）の実施
養老町	2016.10.14	生涯学習基本構想作成支援
八百津町	2016.12.1	八百津町山村エリアの活性化支援
笠松町	2017.4.17	笠松歴史未来会館へ多面体づくり出展
下呂市	2017.11.24	地域療育システム事業への協力
白川村	2018.1.22	白川郷学園の学力向上に向けた連携
多治見市	2018.10.9	多治見市ながせ商店街の活性化支援
海津市	2019.3.4	教育、文化の振興に関する事業の実施
瑞穂市	2019.12.24	人材育成及び地域の活性化に関する事業の実施
飛驒市	2020.2.28	サマースクール（COC+事業の参加大学共通プログラム）の実施
瑞浪市	2020.3.10	地域の活性化に関する事業の実施
輪之内町	2021.10.22	防災及び環境施策の支援・助言
大野町	2022.6.29	小中学校の適正規模・適正配置に関する検討
坂祝町	2022.10.5	コミュニティ・スクールへの助言、評価、指導
関ケ原町	2022.10.31	関ヶ原診療所を中心とした地域医療の確保

\*ここに挙げる活動の他、各種審議会、委員会等の委員への就任及び各種研修講師として本学教員が多数協力している。

### 地域連携事業の推進

2014年度からは、大学COC事業の一環として、学際的に複数の学問の「協働」、分野・部局横断的な連携の強化、自治体・NPO団体・地域団体・民間事業者等との「協学」を進めながら、地域の課題解決に貢献する積極的な取り組みを「地域志向学研究」として位置付け推進している。

○岐阜県と共同で「ぎふ地域学校協働活動センター」を設置

## ■ 公開講座・シンポジウム・フォーラム

### 公開講座

本学は、教育研究の成果を広く社会に開放し、地域社会の教育文化の向上に資することを目的に、各学部及びセンターが様々な内容の公開講座を実施している。また、小・中・高校生を対象とした講座では、公開講座のほかに、ものづくり講座などの体験講座を開催している。2022年度の開講数は次のとおりである。

- 一般市民・社会人を対象とした公開講座 19講座
- 小・中・高校生を対象とした公開講座 15講座

### 岐阜シンポジウム

本学は、地域の知の拠点として、地球規模あるいは社会全体が抱える課題である環境、バイオ、情報、教育などの21世紀の重要テーマについて、岐阜大学の研究成果とともに最新の情報を社会に発信するため、2001年度から「岐阜シンポジウム」を年2回程度開催している。

○2022年度 第39回 岐阜県の野生動物 身近で多様な「隣人」たち

### 岐阜大学フォーラム

大学を活性化するため、優れた学問を発展させてきた一流の研究者による講演会を定期的に開催している。

## ■ 市民大学講座

### 岐阜大学シティカレッジプログラム

本学は、「ぎふ中日文化センター」において、提携講座「岐阜大学シティカレッジプログラム」を開催している。この講座は、本学と中日新聞社が共同で行う「市民大学講座」で、本学の教員が社会や暮らしに密着したテーマを取り上げ、楽しく分かりやすく講義している。

## ■ 高大連携

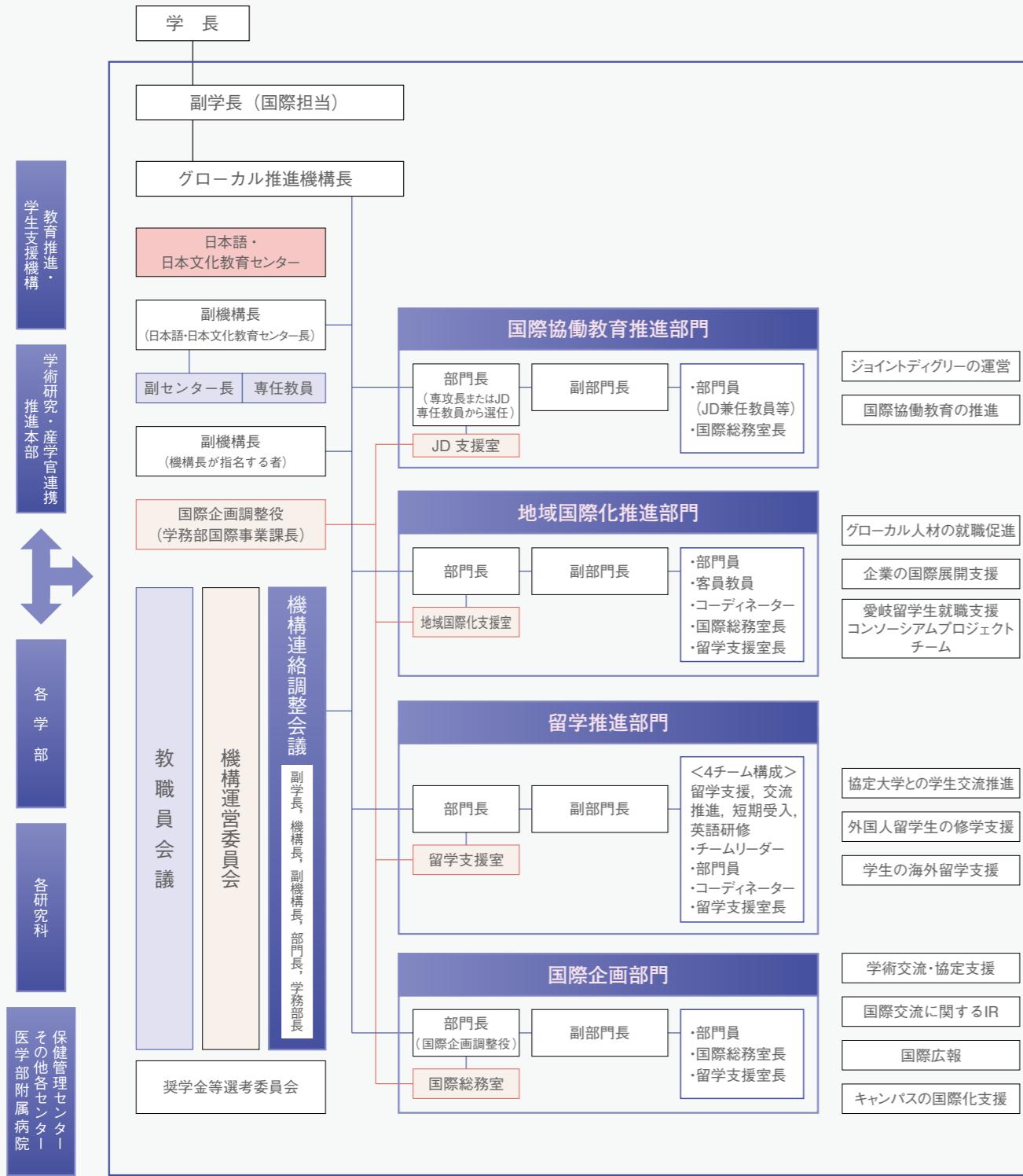
本学は、地元を中心とした高等学校との連携を図り、高校生が様々な研究分野への理解を深め、学問への動機づけや学習意欲の喚起を目的とした事業の実施及び高等学校関係者との意見交換等を通じて高校・大学相互に教育の現状理解を深めるための活動を行っている。

[2022年度実績]

- 高等学校への出前講義 77講座  
(2022年度の開設数は、人文科学29、社会科学16、理学36、応用科学98、医療・福祉37、総合19、計235講座である。)
- ネットワーク大学コンソーシアム岐阜（高大連携・情報発信部会）
  - ・第1回高大連携セミナー（2022年12月19日開催）
  - ・第2回高大連携セミナー（2023年3月27日開催）
- 宇宙工学講座  
参加者：県内高校・高等専門学校17校・97人  
開講式（2022年6月26日開催）  
講座全9回+見学ツアー（2022年6月26日～11月16日開催）  
閉講式（2022年12月17日開催）
- スーパーハイスクールセッション  
参加者：県内高校16校・44人  
第1回 グループワーク（2022年6月19日開催）  
第2回 グループワーク（2022年7月16日開催）  
第3回 成果発表会（2022年8月27日開催）

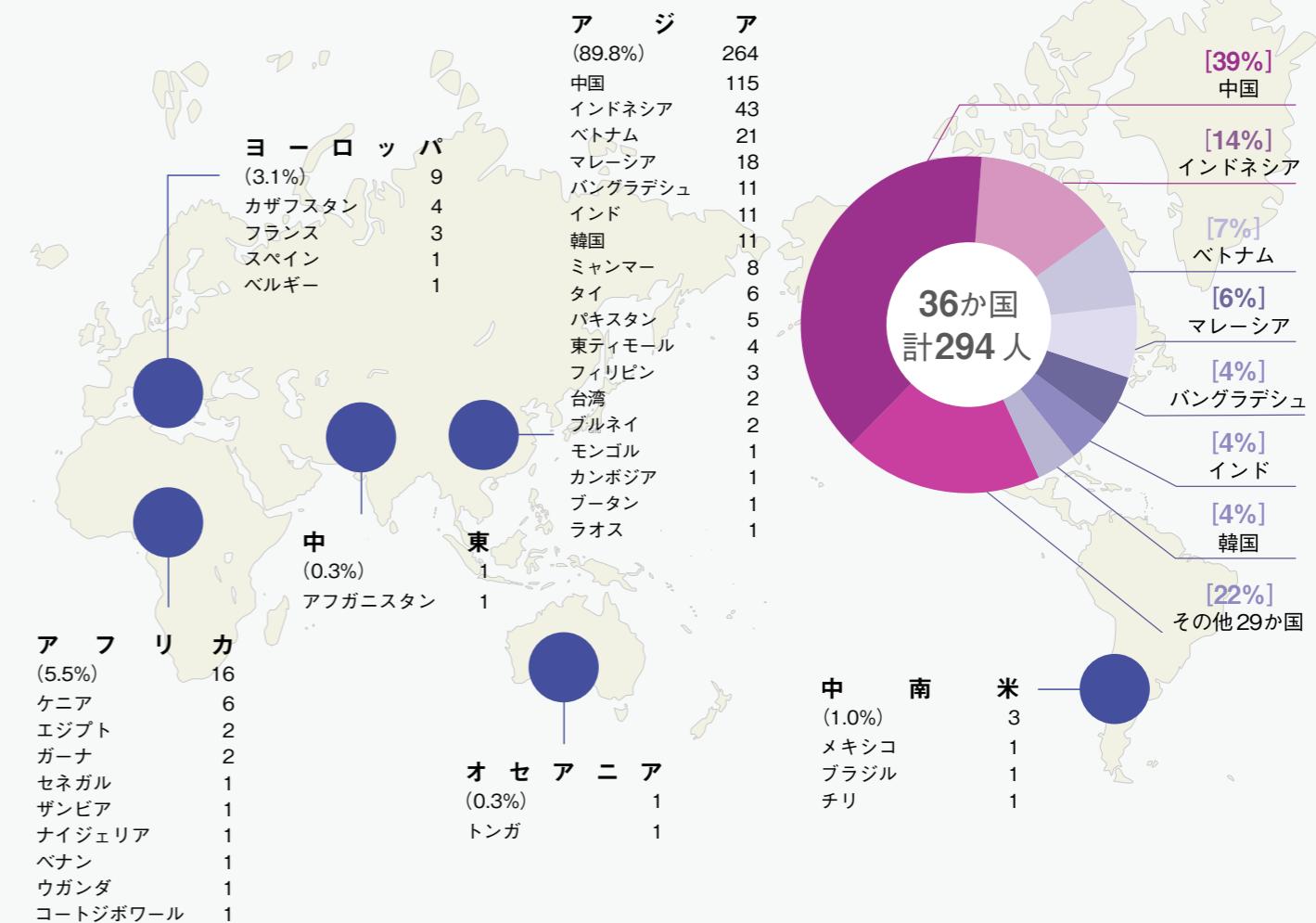
## ■ グローカル推進機構 (Gifu University Organization for Promotion of Glocalization : GU-GLOCAL)

[体制図]

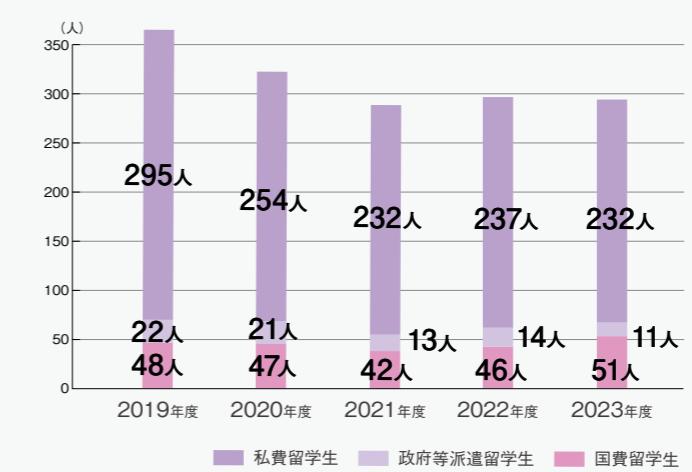


## ■ 留学生受入・派遣状況

国(地域)別外国人留学生数 (2023年5月1日現在)(人)



外国人留学生受け入れ数の推移 (各年5月1日時点)



## 交換留学

国名	大学名	派遣年度				受入年度			
		2019	2020	2021	2022	2019	2020	2021	2022
中国	広西大学					3			1
	電子科技大学					2	1 (オンライン)		1
	華僑大学					2			3
	江南大学					2			
	吉林大学							2 (うち1名オンライン)	3
韓国	ソウル科学技術大学校					2			
	高麗大学校	1		1					
マレーシア	マレーシア国民大学				1				
オーストラリア	シドニー工科大学	3			3	2			
スウェーデン	ルンド大学	1				1			
ドイツ	エルフルト大学	1		2					
スペイン	サラマンカ大学				2				1
米国	ノーザンケンタッキー大学	4		2	2	1			
	サンディエゴ州立大学			1	1				
カナダ	レイクヘッド大学				1				
フランス	リール大学							3	7
合計		10	0	6	8	17	1	5	16

## 夏期短期留学(サマースクール)

国名	大学名	派遣年度				受入年度			
		2019	2020	2021 (オンライン)	2022	2019	2020	2021 (オンライン)	2022
韓国	ソウル科学技術大学校	1		2					
	木浦大学校	1				2			
オーストラリア	グリフィス大学	6		3	31				
米国	ノーザンケンタッキー大学					3		1	
カナダ	アルバータ大学	43		22	6				
中国	電子科技大学					1			
	広西大学					2			
マレーシア	マレーシア国民大学					2		4	
合計		51	0	27	37	10	0	5	

※派遣・受入ともに2020年度は、新型コロナウイルス感染症に起因し中止。

## 学術交流協定締結大学等一覧

## 大学間協定(19か国49大学)

機関名	国名	協定締結日
カンピーナス大学	ブルジル	1984.8.27
サンディエゴ州立大学	米国	1985.5.7
浙江大学	中国	1986.4.21
広西大学	中国	1986.4.24
電子科技大学	中国	1986.7.21
江南大学	中国	1986.9.3
ノーザンケンタッキー大学	米国	1990.9.26
ソウル科学技術大学校	韓国	1992.3.19
グリフィス大学	オーストラリア	1995.3.3
ユタ州立大学	米国	1997.5.29
ハノイ工科大学	ベトナム	1998.6.26
カセサート大学	タイ	1999.8.5
内蒙古農業大学	中国	2000.8.8
シドニー工科大学	オーストラリア	2000.8.14
パンノン大学	ハンガリー	2001.3.2
アンダラス大学	インドネシア	2001.4.23
バングラデシュ農業大学	バングラデシュ	2001.8.23
エルフルト大学	ドイツ	2002.12.4
吉林大学	中国	2003.5.20
チェンマイ大学	タイ	2003.8.4
ダッカ大学	バングラデシュ	2004.6.17
キングモンクット工科大学トンブリ校	タイ	2005.1.10
華僑大学	中国	2005.3.29
同濟大学	中国	2006.3.16
ランボン大学	インドネシア	2006.4.25

2023年5月1日現在

機関名	国名	協定締結日
内蒙古大学	中国	2007.2.6
バイロイト大学	ドイツ	2008.8.22
ベンハー大学	エジプト	2009.3.18
高麗大学校	韓国	2010.1.15
カウナス工科大学	リトアニア	2010.3.8
ボゴール農科大学	インドネシア	2010.12.2
内蒙古師範大学	中国	2011.6.8
ヴィータウタス・マグヌス大学	リトアニア	2012.1.19
ガジャマダ大学	インドネシア	2012.9.13
スプラス・マレット大学	インドネシア	2013.7.8
パリ・サクレー大学	フランス	2014.12.16
インド工科大学グワハティ校	インド	2014.9.21
マレーシア国民大学	マレーシア	2016.9.21
マギル大学	カナダ	2017.3.8
アルバータ大学	カナダ	2017.3.21
レイクヘッド大学	カナダ	2017.10.11
マリアノ・マルコス州立大学	フィリピン	2018.9.10
フェ大学	ベトナム	2018.11.12
アッサム大学	インド	2018.11.20
サラマンカ大学	スペイン	2018.11.26
リール大学	フランス	2020.4.2
南フロリダ大学	米国	2020.12.15
ブラヴィジャヤ大学	インドネシア	2021.2.23
バンドン工科大学	インドネシア	2022.9.26

## 部局間協定

機関名	国名	協定締結日	協定部局
チュラロンコン大学 理学部	タイ	1994.3.15	応用生物科学部
コンケン大学 農学部	タイ	2000.3.27	応用生物科学部
コンケン大学 学部間共同開発研究所	タイ	2000.3.27	応用生物科学部
浙江大学 医学院	中国	2000.12.4	医学部
コンケン大学 医学部	タイ	2000.12.18	医学部
国立全南大学校 工学部	韓国	2002.2.6	工学部
中国科学院水利部水土保持研究所	中国	2008.8.12	インフラマネジメント技術研究センター
国立獣医学研究所	韓国	2008.11.4	応用生物科学部
忠北大学校 医学部	韓国	2009.4.17	医学部
中国水利水电科学研究院岩土工程研究所	中国	2009.7.24	インフラマネジメント技術研究センター
カフル・エル・シェイク大学 獣医学部	エジプト	2009.11.15	連合創薬医療情報研究科
柳韓大学校 工学系	韓国	2010.9.29	工学部
ベンガル大学 数学自然科学部	インドネシア	2011.7.20	工学部
サー・バラシラムブ・カレッジ	インド	2012.9.17	工学部
モンゴル国立大学 地理地質学部	モンゴル	2012.10.29	応用生物科学部
チュラロンコン大学 理学部	タイ	2012.12.6	連合農学研究科
忠南大学校 工学部	韓国	2013.1.18	工学部
マドリード・カルロス三世大学 工学部	スペイン	2013.7.9	工学部
EMC2 クラスター・IRT ジュール・ヴェルヌ	フランス	2014.3.13	複合材料研究センター
ドルトムント工科大学 機械工学部	ドイツ	2014.6.23	工学部
マンダレー大学 自然科学系学部	ミャンマー	2014.8.25	工学部
ヤダナボン大学 自然科学系学部	ミャンマー	2014.12.16	工学部
メティラ大学 自然科学系学部	ミャンマー	2014.12.16	工学部
デダンキマティ工科大学 工学部	ケニア	2014.12.16	工学部
トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学 理工学部	マレーシア	2014.12.16	工学部
慶北大学校 工学部	韓国	2015.2.27	工学部
シーナカリニウロート大学 教育学部	タイ	2015.3.17	教育学部
アメリカ国立衛生研究所・国立心肺血液研究所	米国	2015.3.18	工学部
バーデン・ヴュルテンベルク州立太陽エネルギー・水素研究センター	ドイツ	2015.3.20	工学部
アーカンソー大学フォートスマス校	米国	2015.6.8	地域科学部
チュイロイ大学	ベトナム	2015.6.25	連合農学研究科
ブンハッタ大学	インドネシア	2015.7.30	工学部
ガーナ大学 基礎応用科学部	ガーナ	2015.8.20	応用生物科学部
ガーナ大学 基礎応用科学部	ガーナ	2015.8.20	連合獣医学研究科・共同獣医学研究科
バダン州立大学 数学自然科学部	インドネシア	2015.9.18	工学部
カールスルーエ教育大学	ドイツ	2015.10.21	教育学部
クラクフ工科大学 環境電力工学部	ポーランド	2015.11.30	工学部・流域圏科学研究センター
チュラロンコン大学 理学部	タイ	2015.12.2	工学部
山西師範大学	中国	2015.12.7	教育学部
ハワイ大学 医学部	米国	2016.8.24	医学部
東ティモール国立大学 工学部	東ティモール	2016.8.29	工学部・地方創生エネルギーシステム研究センター
南フロリダ大学 医学生群	米国	2016.10.20	医学部・保健管理センター
ラジシャヒ大学 農業部	バングラデシュ	2016.12.27	応用生物科学部
南京師範大学 エネルギー機械工学院	中国	2017.7.17	工学部
ダゴン大学 自然科学系学部	ミャンマー	2017.7.21	工学部
UIT ノルウェー北極大学 生物・水産・経済学部	ノルウェー	2017.9.27	流域圏科学研究センター
南太平洋大学 自然科学・工学・環境学群	フィジー	2017.12.1	応用生物科学部
インドネシア・イスラム大学 土木工学・計画学部、数学・自然科学部	インドネシア	2018.2.23	工学部
ラオス国立大学 林学部	ラオス	2018.3.21	連合農学研究科
カザン連邦大学 環境科学部	ロシア	2018.5.18	応用生物科学部
ブルネイ・ダルサラーム大学 理学部	ブルネイ	2018.6.15	工学部
カザン医学アカデミー	ロシア	2018.12.10	応用生物科学部
ハンガリー科学アカデミー農学研究センター	ハンガリー	2018.12.10	応用生物科学部
ザンビア大学 工学部	ザンビア	2019.1.30	工学部
ソウル大学校 医科大学	韓国	2019.4.11	医学部
シカゴ大学 医学部	米国	2019.6.3	医学部
台湾国立高雄科技大学 先端金型研究開発センター	台湾	2019.12.27	地域連携スマート金型技術研究センター
リアオ大学 教員養成・教育学部	インドネシア	2020.3.3	工学部
長庚大学 工学部	台湾	2020.3.18	工学部
タイビン医科大学 医・薬科学技術センター	ベトナム	2020.3.31	科学研究基盤センター
タイビン医科大学 医・薬科学技術センター	ベトナム	2020.3.31	連合創薬医療情報研究科
国立中央大学 文学院	台湾	2021.1.14	地域科学部
タイ国立電子コンピューター技術研究センター	タイ	2023.1.29	工学部

2023年5月1日現在

## ■ 研究者受入・派遣状況

## 外国人研究者受入数、来訪者数

2022年度

外国人研究者	9人
外国人来訪者	28人

## 海外渡航者数

2022年度

出張	224人
研修	5人

\*非常勤職員を除く

## ■ 国際交流会館

施設名	施設の概要		
	宿泊室		その他
国際交流会館 (岐阜市柳戸1番1)	A棟	单身室 31	会議室・研修室、談話室
		夫婦室 2	
		家族室 3	
B棟	B棟	单身室 38	多目的ホール、和室
		夫婦室 12	
		家族室 4	
C棟	C棟	单身室 11	
		夫婦室 2	
		家族室 4	

## ■ 海外オフィス

本学では、外国人学生・研究者との交流の促進を目的として、海外オフィスを設置している。

## 岐阜大学上海オフィス(中国)

201315 中華人民共和国上海市浦東新区御青路 999-45

電話: 86-21-58124777

FAX: 86-21-58124778

## 岐阜大学スブラス・マレット大学内オフィス(インドネシア)

Sebelas Maret University,

Jalan. Ir. Sutami 36A, Surakarta 57126

Indonesia

## 岐阜大学ダッカ大学内オフィス(バングラデシュ)

University of Dhaka,

Ramna, Dhaka 1000, Bangladesh

## 岐阜大学広西大学内オフィス(中国)

広西大学

中国広西南寧市大学東路 100 号

## ■ 学長・副学長等一覧

学長・副学長等	
学長	吉田 和弘
副学長(筆頭) (総括・評価・総務・広報・基金担当)	杉山 誠
副学長(企画・研究・財務・産学連携担当)	王 志剛
副学長(教育・学生支援担当)	山田 敏弘
副学長(国際・情報・評価(副)担当)	神原 信志
副学長(多様性・人権・図書館担当)	大藪 千穂
医学部附属病院長	秋山 治彦

教育研究評議会評議員	
東海国立大学機構長	松尾 清一
大学総括理事(岐阜大学長)	吉田 和弘
副学長(筆頭) (総括・評価・総務・広報・基金担当)	杉山 誠
副学長(企画・研究・財務・産学連携担当)	王 志剛
副学長(教育・学生支援担当)	山田 敏弘
副学長(国際・情報・評価(副)担当)	神原 信志
副学長(多様性・人権・図書館担当)	大藪 千穂
教育学部長	山田 雅博
地域科学部長	内田 勝
工学部長・自然科学技術研究科長	植松 美彦
応用生物科学部長	光永 徹
社会システム経営学環長	肥後 瞳輝
医学系研究科長	山口 瞬
共同獣医学研究科長	志水 泰武
連合農学研究科長	平松 研
連合獣医学研究科長	浅井 鉄夫
連合創薬医療情報研究科長	上田 浩
医学部附属病院長	秋山 治彦
糖鎖生命コア研究所長	門松 健治
地域協学センター長	益川 浩一
流域圏科学研究センター長	李 富生
保健管理センター長	山本 真由美
グローカル推進機構長	小山 博之
教育学部 教授	坂本 一也
地域科学部 教授	橋本 永貢子
医学部 教授	井關 敦子
工学部 教授	小林 孝一
応用生物科学部 教授	西津 貴久
社会システム経営学環 教授	三井 栄
医学系研究科 教授	牛越 博昭
教育推進・学生支援機構 教授	纒 繁 守
学術研究・産学官連携推進本部 教授	矢部 富雄
グローカル推進機構 教授	橋本 慎吾
工学部 教授	リム リーワ
応用生物科学部 教授	山本 朱美

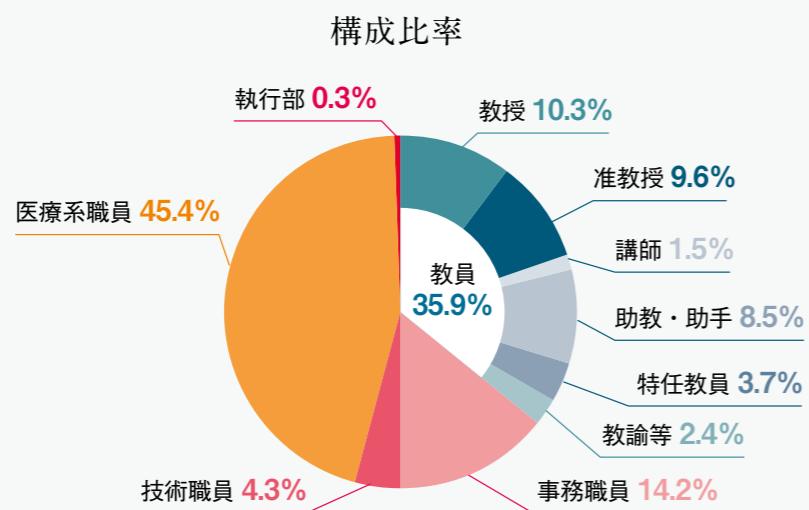
学部長・センター長等	
教育学部	学部長 山田 雅博 副学部長 益子 典文 副学部長 杉森 弘幸 副学部長 坂本 一也 附属小中学校統括長 今村 光章 附属小中学校長 丸山 早苗 学部長 内田 勝 副学部長 橋本 永貢子 副学部長 合掌 顕 研究科長(学部長) 山口 瞬 副研究科長(副学部長) 前川 洋一 副研究科長(副学部長) 牛越 博昭 副学部長 井關 敦子 病院長 秋山 治彦 副病院長 土井 潔 副病院長 清水 雅仁 副病院長 古家 琢也 副病院長 矢部 大介 副病院長 深尾 亜由美 学部長 植松 美彦 副学部長 伊藤 貴司 副学部長 小林 孝一 副学部長 伴 隆幸 附属インフラマネジメント技術研究センター長 沢田 和秀 附属応用気象研究センター長 吉野 純 附属プラズマ応用研究センター長 上坂 裕之 附属宇宙研究利用推進センター長 宮坂 武志 学部長 光永 徹 副学部長 海野 年弘 副学部長 西津 貴久 副学部長 山田 邦夫 附属岐阜フィールド科学教育研究センター長 大場 恵典 附属動物病院長 渡邊 一弘 学環長 肥後 瞳輝 副学環長 三井 栄
工学部	学部長 植松 美彦 副学部長 伊藤 貴司 副学部長 小林 孝一 副学部長 伴 隆幸 附属インフラマネジメント技術研究センター長 沢田 和秀 附属応用気象研究センター長 吉野 純 附属プラズマ応用研究センター長 上坂 裕之 附属宇宙研究利用推進センター長 宮坂 武志 学部長 光永 徹 副学部長 海野 年弘 副学部長 西津 貴久 副学部長 山田 邦夫 附属岐阜フィールド科学教育研究センター長 大場 恵典 附属動物病院長 渡邊 一弘 学環長 肥後 瞳輝 副学環長 三井 栄
応用生物科学部	学部長 光永 徹 副学部長 海野 年弘 副学部長 西津 貴久 副学部長 山田 邦夫 附属岐阜フィールド科学教育研究センター長 大場 恵典 附属動物病院長 渡邊 一弘 学環長 肥後 瞳輝 副学環長 三井 栄
社会システム経営学環	学部長 光永 徹 副学部長 海野 年弘 副学部長 西津 貴久 副学部長 山田 邦夫 附属岐阜フィールド科学教育研究センター長 大場 恵典 附属動物病院長 渡邊 一弘 学環長 肥後 瞳輝 副学環長 三井 栄

大学院	自然科学技术研究科長 植松 美彦
	共同獣医学研究科長 志水 泰武
	連合農学研究科長 平松 研
	連合獣医学研究科長 浅井 鉄夫
	連合創薬医療情報研究科長 上田 浩
	研究院長 王 志剛
	副研究院長 村岡 裕由
	副研究院長 田中香お里
	副研究院長 二上 英樹
	航空宇宙生産技術開発センター長 小牧 博一
高等研究院	地方創生エネルギー研究センター長 上宮 成之
	地域連携スマート金型技術研究センター長 吉田 佳典
	Guコンボジット研究センター長 仲井 朝美
	先制食未来研究センター長 矢部 富雄
	地域環境変動適応研究センター長 原田 守啓
	Coデザイン研究センター長 三井 栄
	地域減災研究センター長 能島 暢呂
	微生物遺伝資源保存センター長 田中香お里
	人工知能研究推進センター長 加藤 邦人
	科学研究基盤センター長 二上 英樹
	脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター長 村岡 裕由
	One Medicineトランシレーションリサーチセンター長 矢部 大介
	全学技術センター長 王 志剛
糖鎖生命コア研究所	研究所長 門松 健治
地域協学センター	センター長 益川 浩一
流域圏科学研究センター	センター長 李 富生
保健管理センター	センター長 山本 真由美
医学教育共同利用拠点	医学部医学教育開発研究センター長 西城 卓也
図書館	図書館長 大藪 千穂 医学図書館長 長岡 仁
教育推進・学生支援機構	機構長 山田 敏弘
	副機構長 纒 繁 守
	副機構長 松永 洋介
	副機構長 横田 康成
	学術研究・産学官連携推進本部 本部長 王 志剛
	グローカル推進機構 機構長 小山 博之
情報連携推進本部	本部長 神原 信志

## 構成員数

部局	執行部	教 員							職 員			合 計	
		教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	特任教員	附属学校教諭	事 務	技 術	医 療		
運営局		6 (1)							153 (75)	18 (4)		177 (80)	
教育学部		30 (3)	36 (7)		4 (1)				16 (8)			86 (19)	
教育学研究科		5 (1)	4 (0)				3 (0)					12 (1)	
教育学部附属小中学校								56 (18)				56 (18)	
地域科学部		14 (2)	11 (2)	1 (0)	9 (4)				6 (3)			41 (11)	
医学部		8 (5)	11 (10)		12 (10)	1 (1)	3 (3)					35 (29)	
医学系研究科		32 (2)	28 (4)	5 (1)	32 (9)		33 (9)		32 (12)	3 (3)		165 (40)	
医学部医学教育開発研究センター		2 (0)			2 (1)		1 (1)					5 (2)	
医学部附属病院		7 (0)	14 (0)	30 (2)	79 (14)				85 (41)	14 (6)	1,064 (765)	1,293 (828)	
工学部		71 (4)	57 (2)		31 (2)		2 (0)		20 (10)			181 (18)	
応用生物科学部		45 (3)	35 (7)		13 (6)		4 (0)		22 (7)	37 (27)		156 (50)	
社会システム経営学環		7 (1)	5 (1)		1 (1)		3 (0)					16 (3)	
連合農学研究科		1 (0)										1 (0)	
連合獣医学研究科		1 (0)										1 (0)	
連合創薬医療情報研究科				2 (1)			3 (0)					5 (1)	
教育推進・学生支援機構				5 (1)			9 (3)					14 (4)	
学術研究・産学官連携推進本部							3 (1)					3 (1)	
高等研究院		1 (0)	5 (0)				18 (2)		29 (2)			53 (4)	
糖鎖生命コア研究所		7 (1)	2 (0)		6 (2)		3 (0)					18 (3)	
グローカル推進機構		3 (2)			2 (1)							5 (3)	
流域圈科学研究センター		4 (0)	7 (3)		2 (1)							13 (4)	
保健管理センター		2 (1)	1 (0)		1 (1)		2 (2)					4 (4)	
地域協学センター		1 (0)	2 (1)		3 (1)							6 (2)	
情報連携推進本部		2 (0)										2 (0)	
男女共同参画推進室					1 (1)							1 (1)	
合計		6 (1)	243 (25)	225 (39)	36 (3)	198 (55)	1 (1)	87 (21)	56 (18)	334 (156)	101 (42)	1,068 (769)	2,355 (1,130)

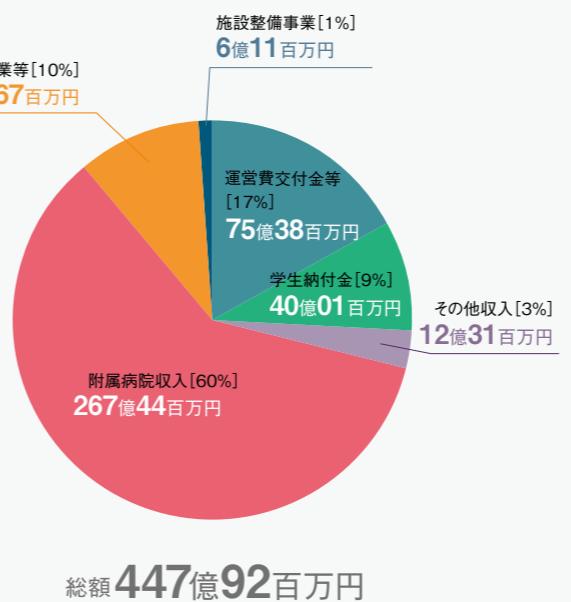
※( )内は女性の人数を内数で示す。特任教員は常勤のみ。



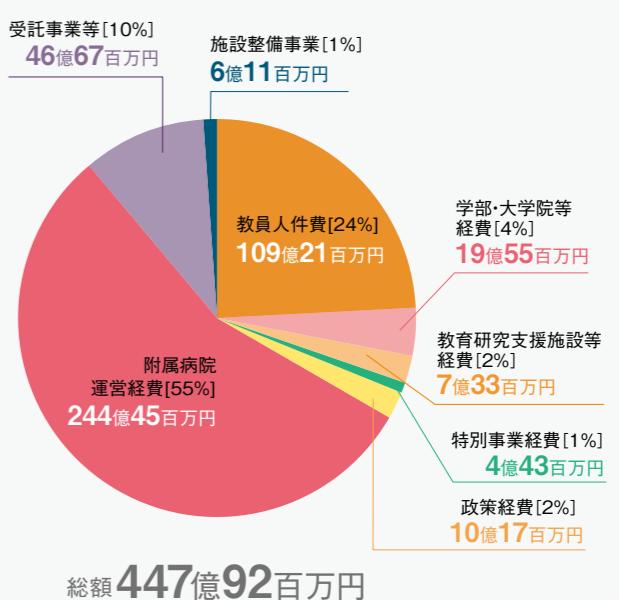
## 予 算

### 2023年度 予算事項別の構成

#### 【収 入】



#### 【支 出】

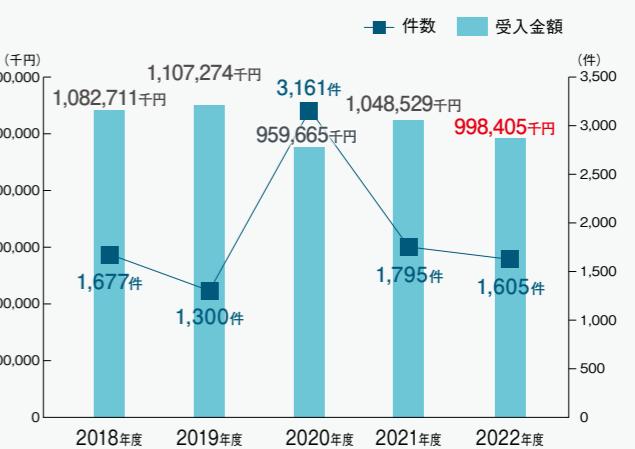


## 寄附金

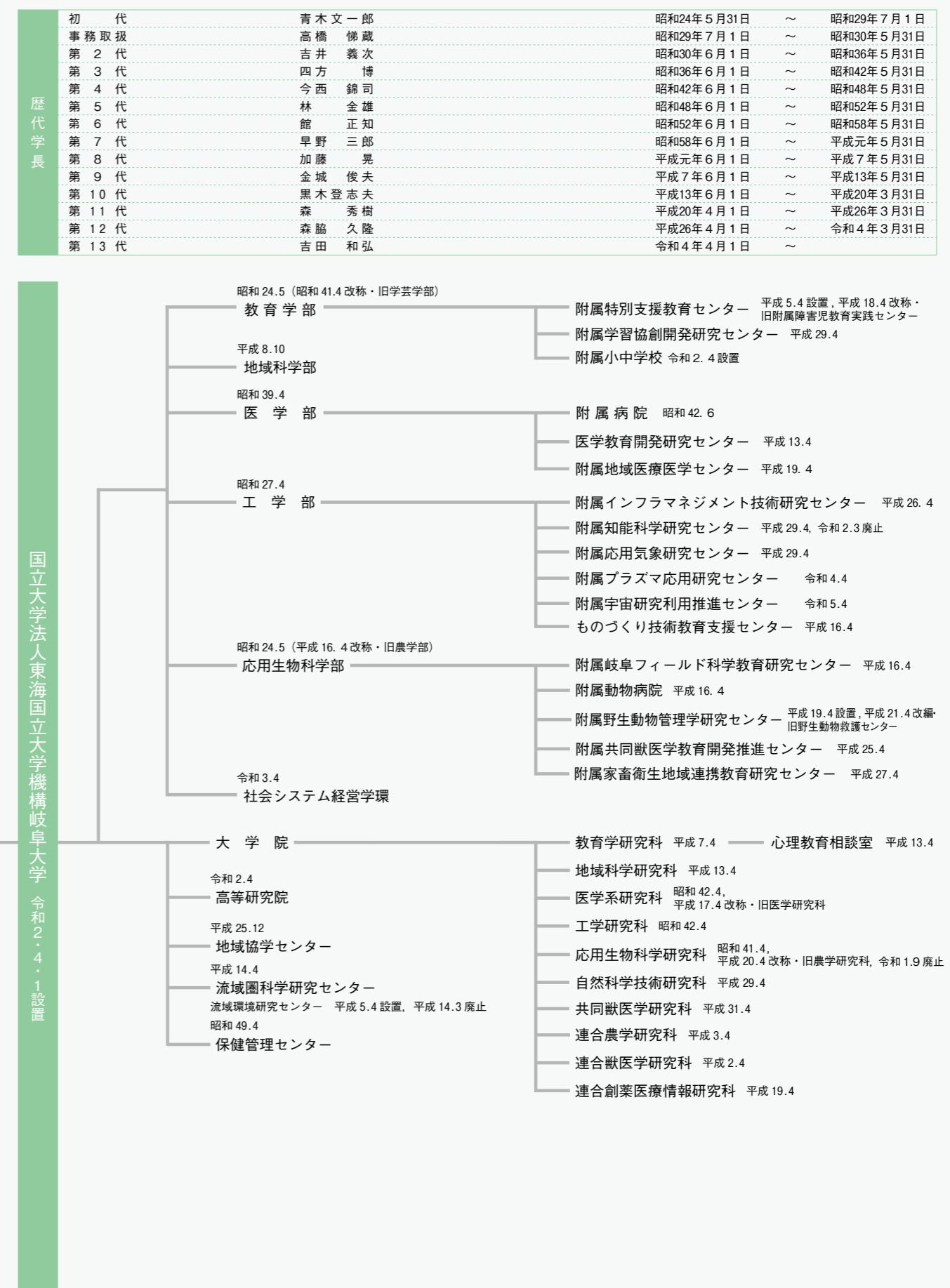
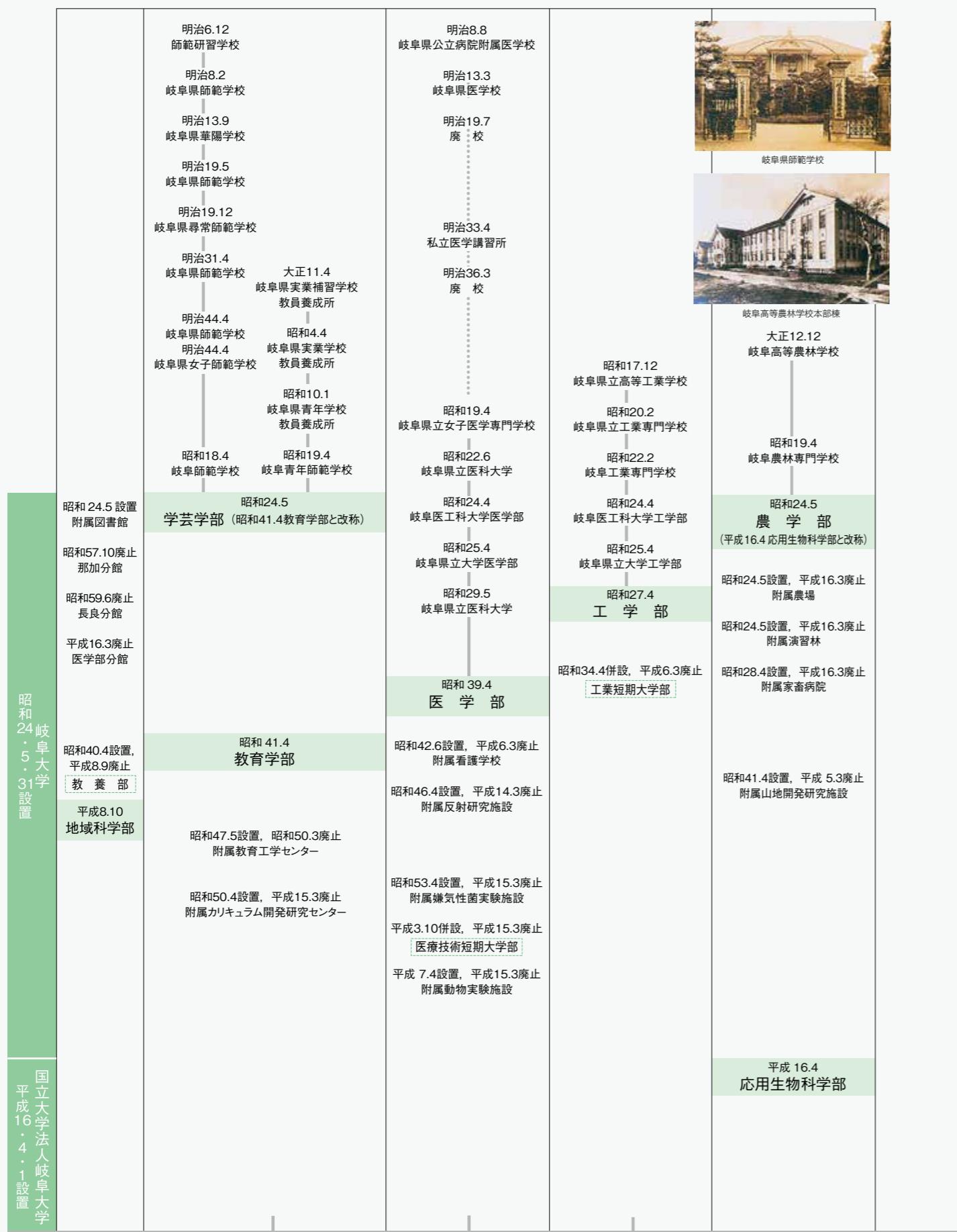
### 2022年度 受入実績

区分	件 数	金 額
岐阜大学基金	803	51,515
本部	1	131
教育学部	26	20,636
教育学部附属小中学校	3	24,060
地域科学部	16	1,991
医学部	281	544,458
医学部附属病院	94	56,201
工学部	155	114,022
応用生物科学部	151	73,094
社会システム経営学環	3	1,306
連合創薬医療情報研究科	8	36,600
高等研究院	26	55,555
糖鎖生命コア研究所	4	2,815
地域協学センター	2	340
流域圈科学研究センター	9	4,948
図書館	11	1,042
教育機関・学生支援機構	1	700
情報連携統括本部	1	300
航空宇宙生産技術開発センター	8	6,491
自然科学技术研究科	1	1,500
連合農学研究科	1	700
合計	1,605	998,405

千円未満は切り捨てとし、医学部には寄附講座分 347,000 千円を含む。  
連合創薬医療情報研究科には寄附講座分 23,000 千円を含む。  
※金額は、単位未満切り捨てのため合計は必ずしも一致しません。



# 沿革



## ■ 建物配置図

- 1 大学本部  
2 教育学部  
3 美術・技術棟  
4 音楽棟  
5 保健体育棟  
6 附属特別支援教育センター  
7 地域科学部  
8 医学系研究科・医学部  
9 医学部生命科学棟  
10 医学部教育・福利棟  
11 医学部記念会館  
12 医学図書館  
13 医学部看護学科  
14 医学教育開発研究センター  
15 附属地域医療医学センター  
16 医学部附属病院  
17 工学部  
18 機械系第1実験棟  
19 機械系第2実験棟  
20 機械系第3実験棟  
21 化学実験・実習施設棟  
22 防災工学実験棟  
23 土木系実験棟  
24 高電圧実験棟  
25 機械工場  
26 ものづくり技術教育支援センター  
27 附属インフラマネジメント技術研究センター  
28 応用生物科学部  
29 農場管理棟  
30 附属岐阜フィールド科学教育研究センター  
31 附属動物病院  
32 附属野生動物管理学研究センター  
33 附属共同獣医学教育開発推進センター  
34 附属家畜衛生地域連携教育研究センター  
35 社会システム経営学環  
36 大学院連合農学研究科  
37 大学院連合獣医学研究科  
38 糖鎖生命コア研究所  
39 図書館  
40 総合研究棟I  
41 総合研究棟II  
42 教育推進・学生支援機構  
43 全学共通教育講義棟  
44 学術研究・产学官連携推進本部  
45 高等研究院  
46 地域創生エネルギーシステム研究センター  
47 地域連携スマート金型技術研究センター  
48 Gu コンボジット研究センター  
49 地域減災研究センター  
50 微生物遺伝資源保存センター  
51 スマート金型開発拠点棟  
52 航空宇宙生産技術開発センター

- 53 流域圏科学研究センター  
54 科学研究基盤センター（ゲノム研究分野）  
55 科学研究基盤センター（嫌気性菌研究分野）  
56 科学研究基盤センター（動物実験分野）  
57 科学研究基盤センター（機器分析分野）  
58 科学研究基盤センター（RI実験分野）  
59 岐阜県食品科学研究所（3階岐阜大学産学連携活動エリア）  
60 インフラミュージアム  
61 情報連携推進本部（情報館）  
62 グローバル推進機構  
63 日本語・日本文化教育センター  
64 教育学部附属学習協創開発研究センター  
65 地域協学センター  
66 保健管理センター  
67 大学会館  
68 國際交流会館  
69 柳戸会館  
70 黒野寮  
71 保育園ほほえみ  
72 講堂  
73 体育館  
74 武道館  
75 第二体育館  
76 第二食堂  
77 岐阜薬科大学校舎  
78 岐阜健康長寿・創薬推進機構（7階）  
79 大学院連合創薬医療情報研究科（8階）  
80 清流の国ぎふ防災・減災センター  
81 陸上競技場  
82 野球場  
83 サッカー場  
84 ラグビー場  
85 テニスコート  
86 バスケットボールコート  
87 バレーボールコート  
88 ハンドボールコート  
89 プール  
90 弓道場  
91 アーチェリー場  
92 馬場  
93 コンビニエンスストア  
94 Tokai Open Innovation Complex 岐阜サイト



2024年1月現在



## ■ 土地・建物

地 区	区 分	2023年5月1日現在	
		土 地 (m <sup>2</sup> )	建 物 (m <sup>2</sup> )
柳戸地区	本部棟	520,827	4,000
	教育学部		18,686
	地域科学部		3,680
	地域科学部・共通教育講義棟		13,433
	医学部(看護学科)		7,197
	工学部		48,832
	応用生物科学部		27,529
	連農・連獣研究科校舎		2,301
	動物病院		3,697
	糖鎖生命コア研究所		4,324
	図書館(講堂含む)		8,853
	学術研究・産学官連携推進本部		9,352
	流域圏科学研究センター		1,112
	情報館		2,311
	地域協学センター		336
	国際交流会館		4,285
	大学会館、第二食堂、柳戸会館		6,465
	体育・課外活動施設		6,416
	黒野寮		5,045
	保育園		618
	排水処理施設、中央機械室、中継ポンプ室、特高受変電室外		1,847
	総合研究棟II		5,880
	岐阜県中央家畜保健衛生所		(819)
	岐阜県食品科学研究所		(826)
医学部・同附属病院	医学部・同附属病院	124,336	119,296
	大学院連合創薬医療情報研究科・岐阜健康長寿・創薬推進機構(※岐阜薬科大学校舎8階、7階一部)		(1,305)
	医学部地区駐車場		(11,421)
	柳戸地区合計		(11,421) 645,163 305,495
吉野町地区	駅前サテライトキャンパス		(591)
加納地区	教育学部附属小中学校	30,599	13,531
昼飯地区	旧早野邸セミナーハウス	5,539	228
美濃加茂地区	応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター美濃加茂農場	(18) 95,832	1,690
萩原町地区	応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター位山演習林	(2,460) 5,536,478	1,103
高山地区	流域圏科学研究センター高山試験地	(207,697)	778
その他	職員宿舎	18,230	8,813
合 計	( )内の数は借地等で、外数である。	(221,596) 6,331,841	(3,541) 331,638



## ■ 所在地・交通案内

キャンパス

キャンパス

部局・施設等	電話番号	FAX番号	郵便番号	住所
大学本部	(058) 230-1111 (代表)	293-2021		
教育学部 / 教育学研究科	293-2203	293-2207		
・附属特別支援教育センター	(058) 293-2350	293-2355		
・附属学習協創開発研究センター	293-2345	293-3384		
地域科学部 / 地域科学研究科	(058) 293-3002	293-3008		
工学部 / 工学研究科	293-2365	293-2389		
・附属インフラマネジメント技術研究センター	293-2419	293-2419		
・附属応用気象研究センター	(058) 293-2365	293-2389		
・附属プラズマ応用研究センター	293-2365	293-2389		
・附属宇宙研究利用推進センター	293-2365	293-2389		
・ものづくり技術教育支援センター	293-2374	293-2389		
応用生物科学部	293-2834	293-2840		
・附属岐阜フィールド科学教育研究センター	293-2972	293-2977		
・附属動物病院	293-2962	293-2964		
・附属野生動物管理学研究センター	293-2959	293-2959		
・附属共同獣医学教育開発推進センター	293-3408	293-2841		
・附属家畜衛生地域連携教育研究センター	293-2834	293-2840		
社会システム経営学環	(058) 293-3440	293-3441		
自然科学技術研究科	(058) 293-3084	293-2389		
共同獣医学研究科	(058) 293-2987	293-2992		
連合農学研究科	(058) 293-2984	293-2992		
図書館	(058) 293-2184	293-2194		
地域協学センター	(058) 293-3880	293-3881		
流域圏科学研究センター	(058) 293-2061	293-2062		
グローカル推進機構	(058) 293-3351	293-2143		
・日本語・日本文化教育センター				
保健管理センター	(058) 293-2174	293-2177		
教育推進・学生支援機構	(058) 293-2133	293-3382		
学術研究・産官学連携推進本部	293-3339	293-3209		
・科学研究基盤センター	293-3171	293-3172		
・地方創生エネルギーシステム研究センター	293-2685	293-2734		
・地域連携スマート金型技術研究センター	(058) 293-2496	293-2496		
・Guコンポジット研究センター	293-3184	293-2022		
・地域減災研究センター	293-3890	293-3891		
・微生物遺伝資源保存センター	230-6146			
医学部 / 医学系研究科	230-6053	230-6060		
医学部附属病院	(058) 230-6000 (代表)	230-6080		
・医学教育開発研究センター (医学教育共同利用拠点)	230-6470	230-6468		
・附属地域医療医学センター	230-6539	230-6538		
連合創薬医療情報研究科	(058) 230-7602	230-7604		
吉野	岐阜大学サテライトキャンパス	(058) 212-0390	212-0391	500-8844 岐阜市吉野町6丁目31番地 岐阜スカイウェイ37東棟4階
加納	教育学部附属小中学校	(058) 271-3545 271-3507	271-1816	500-8482 岐阜市加納大手町74
大垣	旧早野邸セミナーハウス	(0584) 71-0151	71-0151	503-2216 大垣市昼飯町1777
美濃	応用生物科学部附属 岐阜フィールド科学教育研究センター 美濃加茂農場	(0574) 25-2807	25-2807	505-0016 美濃加茂市牧野 1918-1
下呂	応用生物科学部附属 岐阜フィールド科学教育研究センター 位山演習林	(0576) 54-1611	54-1477	509-2501 下呂市萩原町山之口
高山	流域圏科学研究センター 高山試験地	(0577) 31-1005	31-1016	506-0815 高山市岩井町 919-47

### 岐阜大学へのアクセス

#### 自家用車

##### 【名神高速】

- ・一宮 IC から国道 22 号を北進し、岐阜市街経由で、約 50 分(約25km)

##### 【東海北陸自動車道】

- ・岐阜各務原 IC から国道 21 号を西進し、岐阜環状線経由で、約 40 分(約20km)

##### 【東海環状自動車道】

- ・山県 IC から約 20 分(約10km)
- ・大野神戸 IC から約 30 分(約15km)

#### バス・タクシー

##### 【JR岐阜駅 / 名鉄岐阜駅から】

- ・岐阜大学まで約 7 km, バスで約 30 分, タクシーで約 20 分

#### 鉄道

##### 【JR名古屋駅 / 名鉄名古屋駅 / 近鉄名古屋駅から】

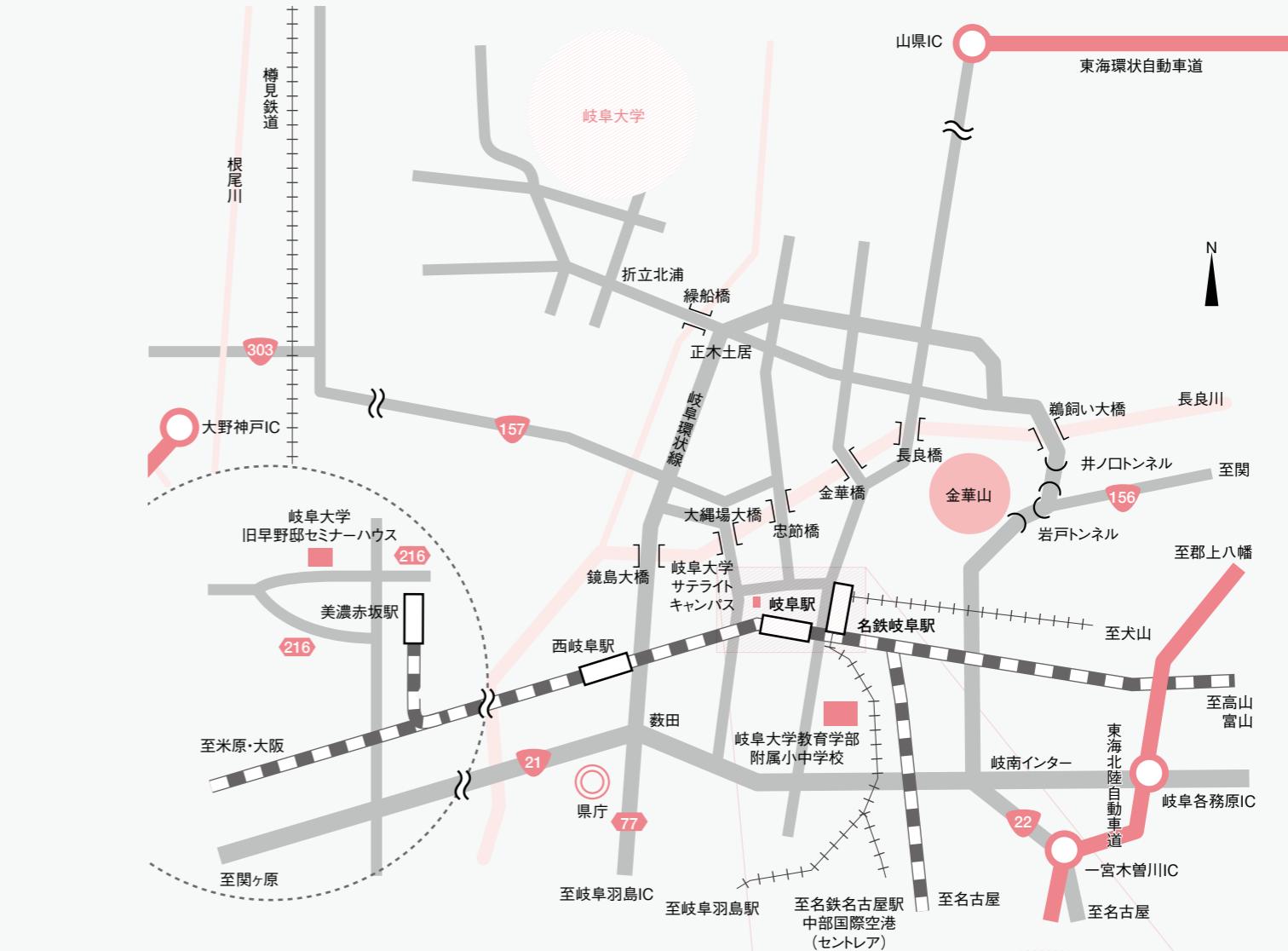
- ・JR 岐阜駅まで、東海道本線(新快速)で約 18 分
- ・名鉄岐阜駅まで、名鉄名古屋本線(特急)で約 29 分

##### 【岐阜羽島駅(新幹線)から】

- ・新羽島駅(岐阜羽島駅隣り)から名鉄岐阜駅まで、名鉄羽島線で約 30 分
- ・タクシー利用の場合は、岐阜大学まで約 40 分

##### 【中部国際空港から】

- ・名鉄岐阜駅まで、名鉄(空港特急・ミュースカイ)で約 57 分



#### バスのりば案内

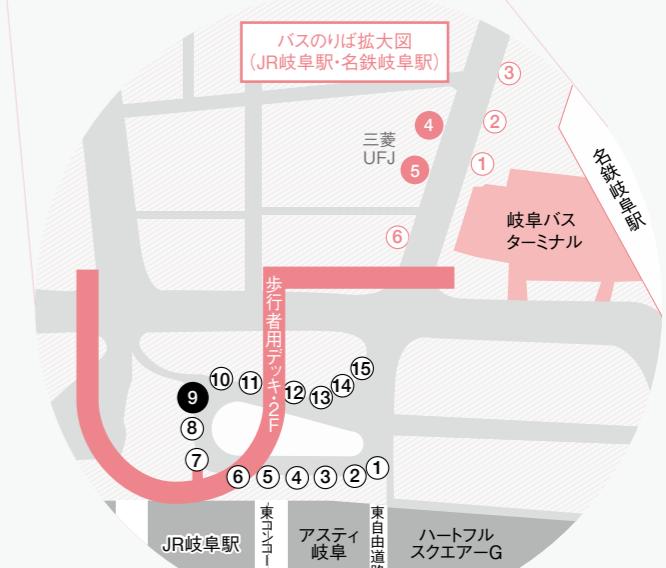
##### JR岐阜駅北口・バスターミナルのりば

のりば	路線名	系統	行先	所要時間
JR岐阜-9	岐阜大学・病院線	C70	岐阜大学病院	約30分
JR岐阜-9	岐阜大学・病院線	C71	岐阜大学病院	清流ライナー 約25分
JR岐阜-9	岐阜大学・病院線	C72	岐阜大学病院	直行 約25分
JR岐阜-9	岐阜大学・病院線	C72	岐阜大学	直行 約30分
JR岐阜-9	岐南町線(長良橋経由)	N45	岐阜大学病院	約35分

##### 名鉄岐阜のりば

のりば	路線名	系統	行先	所要時間
名鉄岐阜-5	岐阜大学・病院線	C70	岐阜大学病院	約30分
バスターミナル-E	岐阜大学・病院線	C72	岐阜大学病院	直行 約25分
バスターミナル-E	岐阜大学・病院線	C72	岐阜大学	直行 約30分
名鉄岐阜-4	岐南町線(長良橋経由)	N45	岐阜大学病院	約35分

- ・バスはすべて「岐阜大学」に停車。バス系統 C は、忠節橋経由
- ・直行便は、学休日、土・日曜日運休
- ・清流ライナーは、岐阜大学まで 3 つの停留所のみ停車する 130 名乗車可能な連節バス





[編集] 岐阜大学総務部広報課広報室 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1  
TEL. 058-230-1111(代表) 058-293-2009 FAX. 058-293-2021  
<https://www.gifu-u.ac.jp/>